第15回日本リーグ後期

男子 湧永製薬 女子 大崎電気 独走で制す

第15回日本リーグの後期は、2月16日から3月24日まで開催されたが、男女とも前期から快調に突っ走っていた湧永製薬(男子)、大崎電気(女子)が早々に優勝を決めた。湧永は2年連続6回目、大崎は4年連続6回目の優勝。

〔男子最終順位〕
①湧永製薬（13勝1分）
②日新製鋼（10勝4敗）
③大同特殊鋼（8勝1分5敗）
④本田技研鈴鹿（8勝1分5敗）
⑤大崎電気（7勝1分6敗）
⑥中村荷役（4勝1分9敗）
⑦三陽商会（3勝1分10敗）
⑧トヨタ自動車（14敗）

〔女子最終順位〕
①大崎電気（9勝1敗）
②大和銀行（4勝3分3敗）
③オムロン（5勝1分4敗）
④北国銀行（5勝5敗）
⑤シャトレーゼ（3勝2分5敗）
⑥日本ビクター（1勝9敗）

1部男子

◆2月16日(土)
(岩井市総合体育館)

湧永製薬28（15－8, 13－17）25三陽商会

〔戦評〕ディフェンス、オフェンスともに安定感が見られる湧永が玉村と河原のロングシュート、ディフェンスからの速攻と確実に得点を重ねて前半を15－8とリードする。

後半に入り、湧永のディフェンスが甘くなったところを浜田のロング、小河原、渡辺のポスト、サイドシュートが決まり追い上げるが、前半の失点を返すことができず、湧永が28－25で逃げ切る。

得	〔湧永〕		〔三陽〕	得
0	徐	GK	宇田川	0
0	多田	GK	吉田	0
1	酒巻	FP	浜川	6
5	河原	FP	飯島	0
7	玉村	FP	小河原	4
4	堀田	FP	渡辺	5
0	中川	FP	佐藤	2
2	荷川取	FP	浜田	4
3	鎌塚	FP	実方	0
6	奥田	FP	田中	4
		FP	吉原	0
		FP	近藤	0
28	(4)	PT	(2)	25

〔審・岡本、清水〕

◆2月16日(土)
(岩手県営体育館)

大崎電気33（17－12, 16－16）28中村荷役

〔戦評〕前半立ち上がり固さが見られる両チームであったが、地元選手・首藤、武田の活躍もあり、大崎の一方的にも見えたが、中村荷役・呉、下戸成の活躍で一進一退の好ゲームとなった。しかし、中村の前半だけで4つの退場でチームのリズムが崩れ、5点差で後半に入った。

両チームとも多彩な攻撃で観客を沸かせたが、試合の主導権を握った大崎が着実に加点、食い下がる中村荷役を振り切った。

得	〔大崎〕		〔中村〕	得
0	渡辺	GK	石井	0
0	矢内	GK	井上	0
5	大橋	FP	田口	6
0	大和田	FP	塚田	0
4	武田	FP	三幸	0
8	首藤	FP	朴	1
0	中田	FP	雨宮	0
6	魚住	FP	下戸成	6
5	甲斐	FP	元島	2
0	菅田	FP	高木	1
0	柏崎	FP	呉	12
5	宮下	FP	田中	0
33	(2)	PT	(1)	28

〔審・小友、谷藤〕

◆2月17日(日)
(東海市民体育館)

大同特殊鋼31（15－14, 16－12）26トヨタ自動車

〔戦評〕立ち上がりからリズムに乗れず動きの鈍い大同はパスミスが目立ち、20分でトヨタに5点差をつけられ心配されたが、21分、GKの交代後、林の好キーピングでリズムが出て徐々に連携プレーが決まりだし、24分過ぎより朝生の速攻を中心に連続5得点を決め逆に1点差をつけて前半を終了。

後半、トヨタは川田を中心に善戦し、試合を大いに盛り上げたが、終わってみれば大同の順当勝ち。

得	〔大同〕		〔トヨタ〕	得
0	秋吉	GK	西井	0
0	林	GK	富森	0
3	田中	FP	香井	7
2	内藤	FP	川田	13
5	高村	FP	酒井	1
9	朝生	FP	田村	1
0	畑	FP	松尾	1
1	名取	FP	石本	0
0	植木	FP	村上	0
8	末岡	FP	杉元	3
1	佐藤	FP	野々	0
2	阿萬	FP	光田	0
31	(3)	PT	(2)	26

〔審・渡辺、楓〕

◆2月17日(日)
(郡山総合体育館)

湧永製薬24（12－12, 12－9）21中村荷役

〔戦評〕立ち上がり両チームとも動きが固く、ミスの多い展開となる。得点が動きだしたのは開始5分、中村・呉のロングで先制した。10分までは中村5－2とし優勢に試合を進めるかに見えたが、10分過ぎから湧永・河原のロング、玉村のPT、速攻でのゲットと3連取し、同点として以後追いつ追われつの同点で前半を終える。

後半開始2分、湧永・河原の退場を機に中村・呉のロングなどで3点を勝ち越すが、湧永もよく粘り、15分過ぎ玉村の速攻、酒巻の速攻、カットインの3連取で同点

に追いつき、23分過ぎから玉村、堀田のポストなどで4連取し、試合の主導権を握り、結局3点差で湧永が勝った。

得	湧永		中村	得
0	徐	GK	石井	0
0	井藤		井上	0
5	酒巻	FP	田口	4
2	河原		塚田	0
9	玉村		三幸	0
5	堀田		朴	3
0	中川		雨宮	2
2	荷川取		下戸成	1
0	鎌塚		元島	1
1	奥田		高木	2
			呉	7
			田中	1
24	(2)	PT	(3)	21

〔審・中島 高野〕

◆2月17日(日)（郡山総合体育館）

大崎電気24 〔10−13 14−7〕 20三陽商会

〔戦評〕前半開始1分、飯嶋のロングシュートで先制した三陽は、大崎のシュートミスからよく走り、11分、渡辺のサイド、濱田、近藤の速攻などで得点を重ね、4点のリードを奪う。一方の大崎は、魚住のロング、ポストシュートなどで追いかけるが、三陽も飯嶋のロングで追従を許さず、残り2分で武田のサイド、速攻で得点するも三陽の3点リードで前半を折り返した。

後半になると、ディフェンスがよく動くようになった大崎は、7分までに魚住のロングなどで3連取して同点にした。その後、11分に首藤のロングで逆転すると、20分過ぎには宮下、魚住の速攻などで5連取して7点差とし、試合の大勢を決めた。三陽は大崎の1・5ディフェンスを攻めきれず、シュートも散発的に決まるだけで終盤に渡辺のサイド、実方、田中の速攻で3連取するも時すでに遅かった。

得	大崎		三陽	得
0	渡邊	GK	宇田川	0
0	矢内		高橋	0
2	大橋	FP	浜川	1
0	大和田		飯島	5
4	武田		小河原	1
3	首藤		渡辺	3
1	中田		佐藤	0
7	魚住		浜田	3
1	甲斐		実方	2
1	菅田		田中	3
0	柏崎		吉原	0
5	宮下		近藤	2
24	(2)	PT	(1)	20

〔審・大河原 池田〕

◆2月17日(日)（神戸市立中央体育館）

本田技研鈴鹿19 〔11−10 8−8〕 18日新製鋼

〔戦評〕開始3分に日新が先取、序盤は日新がリード。10分過ぎから本田にエンジンがかかり、取ったり取られたりの緊迫したゲームとなる。終盤、本田が再度の逆転を果たして1点をリードして前半を終了。後半5分、日新が追いつくがすぐに本田が突き放す。中盤以降、追いすがる日新、逃げる本田、この状態がしばらく続く。終盤も1点を争う激しい闘いが続いたが、終了間際、本田・梅基のシュートで死闘に決着がついた。

得	本田		日新	得
0	高木	GK	谷	0
0	橋本		宇田川	0
0	福島	FP	堀田	0
4	立木		武田	1
0	福村		西山	4
0	内藤		高木	2
2	大塚		甲斐	3
1	梅基		木村	3
1	田口		池田	0
0	平松		藤本	1
0	山本		坂口	3
11	山村		野中	1
19	(4)	PT	(3)	18

〔審・馬場 浜田〕

◆2月23日(土)（四日市市体育館）

本田技研鈴鹿28 〔17−12 11−14〕 26中村荷役

〔戦評〕本田は田口を軸に多彩な攻撃で、一方の中村は田口と呉のロングシュートで1点を争う好ゲームを展開したが、速攻に一日の長を見せる本田がGK橋本の好守もあって前半を17−12と5点のリードを奪った。

後半に入っても本田は立木を中心に着実に加点、15分には23−15と8点差にする。中村も呉を中心によく踏んばり、相手のミスに乗じて得点を重ねよく食い下がったが及ばなかった。

スピーディな動きで見応えある攻防を展開して好ゲームであった。

得	本田		中村	得
0	高木	GK	石井	0
0	橋本		井上	0
0	福島	FP	田口	4
8	立木		塚田	0
0	福村		三幸	0
3	内藤		朴	2
6	大塚		雨宮	3
2	梅基		下戸成	3
0	田口		元島	0
3	平松		高木	2
0	山本		呉	12
6	山村		田中	0
28	(2)	PT	(0)	26

〔審・板倉 岩本〕

◆2月23日(土)（草加市スポーツ健康都市体育館）

湧永製薬23 〔15−8 8−15〕 23大崎電気

〔戦評〕前半、大崎・武田の速攻、湧永・玉村のミドルで滑り出した。大崎は湧永の1・2・3ディフェンスを攻めあぐね、徐々に湧永に引き離され、前半は15−8と湧永が7点をリードして折り返した。

後半はまさに両者が入れ変わったように大崎のディフェンスが良くなった。GK矢内の好守からの速攻、セットでもロング、ポストプレーと素晴らしいプレーが続出した。終了5分前、大崎が初めてリードしたが、終了30秒前に湧永が速攻を決めて劇的な引き分けで終わった。

得	湧永		大崎	得
0	徐	GK	渡辺	0
0	井藤		矢内	0
0	酒巻	FP	大橋	1
5	河原		大和田	0
6	玉村		武田	4
3	堀田		首藤	4
0	中川		中田	1
3	荷川取		魚住	4
2	鎌塚		甲斐	6
4	奥田		菅田	0
0	松本		柏崎	0
			宮下	3
23	(3)	PT	(3)	23

〔審・上久保 北井〕

◆2月24日(日)
（清水市営体育館）

本田技研鈴鹿 21〔10―10 11―11〕**21 三陽商会**

〔戦評〕前期で2敗し星勘定の苦しい本田だが、前日の湧永の引き分けにより夢が湧いてきた。逆転V達成のためにはもはや1敗も許されない。そんな思いがプレーに現われたか動きが固い。動きの早いプレーでリードはするもいまひとつディフェンスの連携がとれず失点を許す。前半12分、6―3とリードが21分には7―7、浜田のパワー、渡辺のテクニックで三陽も粘って10―10の同点で前半を終える。

後半立ち上がり、本田は立木、山村が決めて5分には14―11とリード、このままいくか……と思わせたのもつかの間、三陽の6連続得点を含む大反撃で17分には15―19とリードされてしまった。本田も意地をみせて追い上げ、24分には20―20の同点とした。残り1分51秒、21―21の同点から三陽の攻撃を本田が守り、引き分けで終わった。

得	〔三陽〕		〔本田〕	得
0	宇田川	GK	高木	0
0	高橋		橋本	0
0	浜川	FP	藤井	0
4	飯島		立木	4
2	小河原		福村	0
5	渡辺		内藤	2
0	佐藤		大塚	0
3	浜田		梅基	3
0	実方		田口	2
4	田中		平松	4
0	小清水		山本	0
3	近藤		山村	6
21	(0)	PT	(2)	21

〔審・　〕

◆4月24日(日)
（京都市立体育館）

大同特殊鋼 25〔13―9 12―11〕**20 中村荷役**

〔戦評〕前半立ち上がり、中村が3点を先取したが、大同はポストをからめた攻撃を中心に逆転し、13―9で前半を終る。

後半に入っても中村は大同の攻撃を守り切れず、呉のシュートなどで追いかけるが届かず、25―20で大同が勝利を収めた。

得	〔大同〕		〔中村〕	得
0	秋吉	GK	石井	0
0	林		井上	0
2	田中	FP	田口	5
4	内藤		塚田	0
3	高村		三幸	0
8	朝生		朴	2
3	畑		雨宮	3
0	名取		下戸成	3
0	植木		元島	0
3	末岡		高木	2
2	佐藤		呉	5
0	阿萬		田中	0
25	(6)	PT	(4)	20

〔審・小山 佐路〕

◆2月24日(日)
（徳山市体育館）

日新製鋼 34〔15―12 19―6〕**18 トヨタ自動車**

〔戦評〕前半15分まで日新・武田、木村のカットイン、藤本のサイド、ミドルシュート、坂口のロングシュートなどの多彩な攻撃に対し、トヨタは川田が執ようにマークされ、香井、光田のサイドシュートだけで12―6と点差が開き、一方的なゲームになるかに見えた。しかし、残り10分になり、日新の攻めが荒くなり、トヨタはそのミスをつく速攻や川田のロングシュート、GKの好守により追い上げ、3点差で前半を折り返す。

後半も立ち上がり10分、日新は一気に9点差をつける。以後一進一退の展開となるが、単調な攻めのトヨタに対し日新は思うように攻め、16点差で終了。

得	〔日新〕		〔トヨタ〕	得
0	谷	GK	西井	0
0	宇田川		富森	0
0	堀田	FP	香井	5
5	武田		川田	5
0	西山		酒井	0
0	高木		田村	0
2	甲斐		松尾	0
1	藤井		石本	1
8	大村		村上	0
10	藤本		杉本	4
3	坂口		野々	0
5	野中		光田	3
34	(2)	PT	(2)	18

〔審・山根 赤地〕

◆3月3日(日)
（東根市民体育館）

日新製鋼 22〔14―8 8―13〕**21 大同特殊鋼**

〔戦評〕前半慎重な立ち上がりから大同がジリジリと加点、主導権を握るも、中盤から動きが全く止まり、日新の猛反撃を許して18分に7―7と追いつかれ、ズルズルと点差を開かれていった。

後半、奮起した大同は見違えるプレーを展開、16分には1点差と詰め寄り、が然白熱したゲームとなった。必死に逃げる日新に対し執ように迫る大同ではあるが、どうしても1点の壁を破ることができず辛うじて日新が1点差で逃げ切った。

得	〔日新〕		〔大同〕	得
0	谷	GK	秋吉	0
0	宇田川		林	0
1	堀田	FP	田中	4
4	武田		内藤	3
2	西山		高村	3
0	高木		朝生	6
0	甲斐		畑	0
5	木村		名取	0
0	池田		植木	0
5	藤本		末岡	3
4	坂口		佐藤	2
1	野中		阿萬	0
22	(2)	PT	(3)	21

〔審・菅野 半田〕

◆3月3日(日)
（東根市民体育館）

中村荷役 29〔16―2 13―18〕**20 三陽商会**

〔戦評〕相手を知り尽くした同士の対戦。荒いディフェンスの応襲となったが、攻守に精彩を欠く三陽は呉、朴、田口を軸に多彩な攻撃を展開する中村に一方的に攻め

得	〔中村〕		〔三陽〕	得
0	石井	GK	宇田川	0
0	井上		吉田	0
5	田口	FP	浜川	4
0	塚田		飯島	0
0	三幸		小河原	1
3	朴		渡辺	3
8	雨宮		佐藤	4
3	下戸成		浜田	5
2	元島		実方	0
2	高木		田中	4
5	呉		吉原	0
1	田中		近藤	0
29	(6)	PT	(2)	21

〔審・小友 谷藤〕

まくられ、16－2と意外な大差で前半を終了。
　後半に入っても中村の勢いは止まらず、粘る三陽もリズムに乗り切れず、前半で勝負がついたゲームであった。

◆3月3日(日)
(徳島市立体育館)

湧永製薬48 〔26－9／22－10〕 19 トヨタ自動車

〔戦評〕全勝の湧永に全敗のトヨタがどこまで食い下がるかに期待がかかったが、トヨタの善戦もむなしく、湧永の一方的なゲームとなった。
　内容的には両チームとも手を抜かず、最後まで見応えあるゲームを展開した。

	得	湧永	トヨタ	得
GK	0	徐	西井	0
GK	0	多田	富森	0
FP	5	酒巻	香井	9
FP	9	河原	川田	4
FP	22	玉村	酒井	0
FP	5	堀田	田村	0
FP	0	中川	松尾	1
FP	0	荷川取	石本	2
FP	4	鎌塚	杉元	1
FP	2	奥田	野々	1
FP	1	松本	光田	0
FP			山ノ内	1
PT	48	(4)	(1)	19

審・多田・杉山

◆3月3日(日)
(佐賀県総合体育館)

大崎電気19 〔10－14／9－3〕 17 本田技研鈴鹿

〔戦評〕本田が速攻でのサイドスカイプレーで先取点をとったが、大崎・甲斐のロングシュートで追いついた。大崎がセットプレーで点をとるが、シュートミス、パスミスが多く、本田に逆に速攻を許し、本田の4点リードで前半を終る。
　後半、大崎の魚住、甲斐のロングシュート、甲斐からのパスを大橋がポストシュートを決めて1点差、8分には甲斐のPTで同点とした。その後は激しい攻防が続き両チームの好プレーが随所に見られた。25分、首藤がリバウンドボールを好プレーで甲斐へパスし、1点リードした本田・田口のシュートで同点。28分、魚住のサイドシュートで再びリードした。29分、本田の速攻からのノーマークシュートを矢内が好キーピングし、終了間際に大崎のスカイプレーが決まって2点差で終了した。

	得	大崎	本田	得
GK	0	渡辺	高木	0
GK	0	矢内	橋本	0
FP	4	大橋	藤井	0
FP	3	武田	立木	0
FP	1	首藤	福村	1
FP	0	中田	内藤	3
FP	4	魚住	大塚	4
FP	5	甲斐	梅基	1
FP	1	菅田	田口	4
FP	0	山内	平松	1
FP	0	柏崎	山本	0
FP	1	宮下	山村	3
PT	19	(1)	(1)	17

審・中本・渡辺

◆3月9日(土)
(枇杷島スポーツセンター)

湧永製薬29 〔14－14／15－12〕 26 日新製鋼

〔戦評〕今日の試合で優勝を決めたい湧永は、開始早々、日新・野中のポストシュートで先制されるものの玉村のPTですぐに取り返す。その後10分間は双方互角の展開、10分過ぎから湧永・奥田のサイドシュート等で引き離しにかかるが、粘る日新も藤本の2連取で反撃し、意地をみせて前半をタイスコアで折り返す。
　後半、湧永は厚いディフェンスで守りを固める一方、河原や玉村らで次々に得点を重ね、必死に追いすがる日新を振り切った。
　前半で4名の退場者を出した湧永製薬であったが、随所に試合巧者ぶりを発揮し、見事2年連続6回目の優勝を果たした。

	得	湧永	日新	得
GK	0	徐	谷	0
GK	0	多田	宇田川	0
FP	6	酒巻	堀田	0
FP	7	河原	武田	2
FP	5	玉村	西山	5
FP	7	堀田	高木	1
FP	0	中川	甲斐	0
FP	2	荷川取	木村	7
FP	0	鎌塚	池田	0
FP	2	奥田	藤本	3
FP	0	松本	坂口	3
FP			野中	5
PT	29	(1)	(3)	26

審・川島・森

◆3月9日(土)
(枇杷島スポーツセンター)

大同特殊鋼24 〔10－7／14－15〕 22 本田技研鈴鹿

〔戦評〕滑り出し好調の大同は、高村を中心とした攻撃で開始10分までに6－2とリード。その直後本田は山村がサイド、速攻で3連続得点し、追いすがるが、前半は大同が3点リードで折り返し。
　後半は一進一退のゲーム展開となったが、速攻を主体として自分たちのリズムを守った大同が勝利を握った。

	得	大同	本田	得
GK	0	秋吉	高木	0
GK	0	林	橋本	0
FP	2	田中	藤井	0
FP	2	内藤	立木	2
FP	4	高村	福村	1
FP	4	朝生	内藤	0
FP	0	畑	大塚	4
FP	1	名取	梅基	1
FP	0	植木	田口	7
FP	6	末岡	平松	1
FP	5	佐藤	山本	0
FP	0	阿萬	山村	6
PT	24	(4)	(1)	22

審・浜田・小笠原

◆3月10日(日)
(豊橋総合体育館)

本田技研鈴鹿35 〔15－7／20－10〕 17 トヨタ自動車

〔戦評〕前半立ち上がり、本田は素晴しいコンビネーションプレーでノーマークをつくるもシュートミスを重ね、得点が伸びなかったが、10分過ぎからは落ち着いたシュートが見られ、着実に加点していった。攻守ともに本田のスピードが勝っており、ゲームは一方的なものになった。トヨタは、本田の1・2・3システムの厚く、すばやいディフェンスが攻め切れず攻撃が単調になってしまった。
　後半になっても本田ののびのびとしたコンビネーションプレーが

冴え、終始余裕のあるゲーム運びで、随所にスカイプレーなどを織りまぜるなど多彩な攻撃を見せてくれた。後半は、パスカットやシュートカットなどからのワンマン速攻で本田の強さが目立った。

	本田	得	トヨタ	得
GK	高木	0	西井	0
GK	橋本	0	富森	0
FP	福島	0	香井	4
FP	立木	0	川田	6
FP	福村	5	酒井	2
FP	内藤	2	田村	1
FP	大塚	11	松尾	0
FP	梅基	4	石本	0
FP	田口	2	村上	0
FP	平松	4	野々	0
FP	山本	1	先田	0
FP	山村	6	山内	4
PT		(1)		(3)
計		35		17

審・細沢・清水

◆3月10日(日)（和歌山県立体育館）

大崎電気 32（17－11、15－11）**22 大同特殊鋼**

〔戦評〕前半、大崎は魚住のロングシュートを主体にサイド側もからめ幅広い攻撃で主導権を持つ。大同はセットが決まらず、速攻と中ロングシュートで得点したが、高村のロングシュートの確率が低いのが目立ち、点差が開く。

後半立ち上がりは互角の展開であったが、大同のロングが決まらず、ポストに無理なパスをして大崎に速攻で加点され、前半と同じパターンで終始した。

	大崎	得	大同	得
GK	工藤	0	秋吉	0
GK	矢内	0	林	0
FP	大橋	1	田中	1
FP	武田	5	内藤	1
FP	首藤	6	高村	6
FP	中田	2	朝生	2
FP	魚住	9	畑	0
FP	甲斐	5	名取	1
FP	菅田	0	植木	0
FP	山内	0	末岡	5
FP	柏崎	0	佐藤	5
FP	宮下	4	阿萬	1
PT		(4)		(2)
計		32		22

審・浅井・山本

◆3月10日(日)（呉市体育館）

日新製鋼 24（11－6、13－10）**16 三陽商会**

〔戦評〕前半、三陽のシュートミスが目立った。セットオフェンスでは、飯島のロングシュートが中心でサイドシュートは、日新GK宇田川の好守によりなかなか得点につながらない。一方日新は、相手のパスのインターセプトでペースをつかみ、どこからでもまんべんなく得点を重ねていった。中でも長身・坂口のロングシュート、木村のロングシュートがよく決まった。

後半、三陽は警告、退場者が続出し、ペースをつかめず日新ペースでのゲーム展開となった。

	日新	得	三陽	得
GK	谷	0	宇田川	0
GK	宇田川	0	高橋	0
FP	堀田	1	浜川	1
FP	武田	2	飯島	3
FP	西山	5	小河原	3
FP	高木	1	大坪	1
FP	甲斐	3	渡辺	2
FP	木村	3	佐藤	1
FP	池田	1	浜田	2
FP	藤本	2	実方	0
FP	坂口	4	田中	3
FP	野中	2	近藤	0
PT		(3)		(0)
計		24		16

審・古富・赤地

◆3月16日(土)（石岡市総合運動公園体育館）

三陽商会 28（14－10、14－11）**21 トヨタ自動車**

〔戦評〕前半、トヨタ香井のサイドシュートで試合が始まった。カットイン、ロング、PT、速攻と4連続得点した三陽が8分には5－2とリードするが、トヨタも川田のロング、サイド、カットインで応襲し、16分には7－7の同点とした。三陽は終盤2本のPTを含む2度目の4連続得点などで再びトヨタを引き離し、14－10と三陽リードで前半を終了した。

サイドを変えた後半、2分から12分までの10分間に三陽は6連取し20－11とほぼ試合を決めた。その後一進一退の展開からトヨタも一時5点差まで追い上げたが、結局地力に勝る三陽が28－21で勝利を収めた。

	三陽	得	トヨタ	得
GK	宇田川	0	西井	0
GK	高橋	0	富森	0
FP	浜川	5	香井	7
FP	飯島	4	川田	6
FP	小河原	0	酒井	0
FP	大坪	2	田村	0
FP	渡辺	2	松尾	3
FP	佐藤	0	石本	3
FP	浜田	3	杉元	0
FP	実方	0	野々	0
FP	田中	8	光田	0
FP	近藤	4	山ノ内	2
PT		(5)		(1)
計		28		21

審・清水・仲田

◆3月17日(日)（都城市体育館）

日新製鋼 25（12－12、13－12）**24 中村荷役**

〔戦評〕日新・甲斐のカットインからの得点でスタートし、日新・武田、中村・雨宮がミドルシュートでともに加点したが、中村・呉のシュートがGKに止められ日新がリード。25分過ぎ中村・雨宮の速攻により12－12に追いついた。終了間際、中村がPTを得たが止められ、同点で前半を終了。

後半30秒、日新・坂口のロングシュートから始まるが、中村もペナルティーを生かし朴のポスト、雨宮のサイドで加点、その後一進一退の展開。中村・呉の退場の間に日新・西山がミドルやPTを決め、1点差で日新が逃げ切った。

	日新	得	中村	得
GK	谷	0	石井	0
GK	宇田川	0	井上	0
FP	堀田	0	田口	3
FP	武田	4	塚田	0
FP	西山	9	三幸	0
FP	高木	0	朴	3
FP	甲斐	3	雨宮	11
FP	木村	4	下戸成	3
FP	池田	0	元島	0
FP	藤本	2	高木	1
FP	坂口	3	呉	3
FP	野中	1	田中	0
PT		(5)		(2)
計		25		24

審・切通・大村

◆3月17日(日)（相模原市総合体育館）

大崎電気 41（22－13、19－9）**22 トヨタ自動車**

〔戦評〕立ち上がりから攻守のかみ合った大崎が快調に得点を重ねるのに対し、トヨタ自動車は20分過ぎからスパート、9点差として前半を終えた。
　後半に入っても流れは完全に大崎に。トヨタGK富森の好守がわずかに光った程度で、大差のついたゲームであった。

得	〔大崎〕		〔トヨタ〕	得
0	工藤	GK	西井	0
0	矢内		富森	0
4	大橋	FP	香井	2
10	武田		川田	9
5	首藤		酒井	0
1	中田		田村	0
6	魚住		松尾	1
4	甲斐		石本	4
1	菅田		杉元	1
2	柏崎		野々	0
3	相馬		光田	0
5	宮下		山ノ内	5
41	(2)	PT	(0)	22

〔審・松本、石川〕

◆3月17日(日)（奈良市中央体育館）

湧永製薬27 (16―11, 11―10) 21 大同特殊鋼

〔戦評〕前週に優勝を決めている湧永がスタートから確実にチャンスを得点に結びつけ、15分には6点差とし、16―11で前半を折り返す。

得	〔湧永〕		〔大同〕	得
0	徐	GK	秋吉	0
0	多田		林	0
4	酒巻	FP	田中	4
7	河原		内藤	1
9	玉村		高村	6
1	堀田		朝生	2
0	中川		畑	2
4	荷川取		名取	0
1	鎌塚		植木	0
0	奥田		末岡	3
1	松本		佐藤	2
			阿萬	1
27	(4)	PT	(0)	21

〔審・丸谷、奥田〕

　後半、湧永の好ディフェンスに大同が攻めあぐむが、高村のロングシュート、速攻などで追ったが及ばず、27―21で湧永が勝利を握った。

◆3月23日(土)（東京都体育館）

中村荷役37 (16―10, 21―13) 23 トヨタ自動車

〔戦評〕前半立ち上がりから中村は雨宮のPTなどで着実に得点を重ね、10分には8―5とし、以後川田1人に頼るトヨタ自動車をじりじりと引き離し、21―13と8点差をつけて前半を折り返す。
　後半に入っても流れは変わらず中村の厚いディフェンスを攻めあぐねたトヨタは点差を広げられ、37―23で中村が勝利を飾った。

得	〔中村〕		〔トヨタ〕	得
0	石井	GK	西井	0
0	井上		富森	0
5	田口	FP	香井	6
1	三幸		川田	4
6	朴		酒井	0
8	雨宮		田村	3
3	下戸成		松尾	0
2	元島		石本	4
3	高木		杉元	2
0	岩戸		野々	1
8	呉		光田	0
1	田中		山ノ内	3
37	(3)	PT	(1)	23

〔審・後藤、島田〕

◆3月23日(土)（東京都体育館）

日新製鋼26 (15―6, 11―12) 18 大崎電気

〔戦評〕前半立ち上がり、大崎・魚住が先制。以後一進一退の展開となったが、大崎が先行して12―11と1点をリードして前半を折り返す。
　後半に入っても中盤まで互角の展開であったが、西山のシュートが決まり始めた日新に対し大崎は甲斐、魚住らのシュートが決まらず、次第にリードを広げた日新が26―18で勝った。

得	〔日新〕		〔大崎〕	得
0	谷	GK	渡辺	0
0	宇田川		矢内	0
1	堀田	FP	大橋	0
5	武田		大和田	1
2	西山		武田	3
4	高木		首藤	4
3	甲斐		中田	1
1	木村		魚住	2
0	池田		甲斐	3
7	藤本		菅田	1
1	坂口		珍田	0
2	野中		宮下	4
26	(3)	PT	(0)	19

〔審・小林、土屋〕

◆3月24日(日)（東京都体育館）

大同特殊鋼29 (14―12, 15―10) 22 三陽商会

〔戦評〕前半は大同・末岡のミドルシュート、高村のカットイン、三陽・浜川のミドルの打ち合いとなったが、10分過ぎから大同・末岡のミドルがよく決まり、15―10と大同が5点リードして前半を終える。
　後半も5点差を境とする一進一退の攻防が見られたが、15分の大同・田中のサイドシュートが決まったのが大きく、高村の好アシス

トも冴え、29—22で大同が逃げ切った。三陽は高橋の好キープ、飯島の切れのいいミドルシュートが決まったが遅すぎた。

得	〔大同〕		〔三陽〕	得
0	秋吉	GK	宇田川	0
0	林	GK	高橋	0
5	田中	FP	浜川	3
1	内藤	FP	飯島	4
6	高村	FP	小河原	3
0	朝生	FP	大坪	2
0	畑	FP	渡辺	3
1	名取	FP	佐藤	0
0	植木	FP	浜田	1
9	末岡	FP	田中	4
4	佐藤	FP	吉原	0
3	阿萬	FP	近藤	2
29	(3)	PT	(1)	22

〔審・浜田 小笠原〕

◆3月24日(日)(東京都体育館)

湧永製薬26 〔16—9 10—10〕 19 本田技研鈴鹿

〔戦評〕前半10分までは両チームともよく動き得点するが、15分過ぎ、湧永・荷川取のポストによる2点連取以後、本田のディフェンスの動きが悪くなり、湧永に一方的に得点を許す。

後半立ち上がりから湧永は速攻を主体にスピーディな攻撃で得点を重ねる。本田は湧永の厚いディフェンスの前に攻め切れず、パスミスが目立ち押し切られた。

得	〔湧永〕		〔本田〕	得
0	徐	GK	高木	0
0	多田	GK	橋本	0
3	酒巻	FP	藤井	0
3	河原	FP	立木	2
7	玉村	FP	福村	1
5	堀田	FP	内藤	3
1	中川	FP	大塚	2
5	荷川取	FP	梅基	2
0	鎌塚	FP	田口	3
1	奥田	FP	平松	1
1	松本	FP	山本	0
		FP	山村	5
26	(1)	PT	(2)	19

〔審・上久保 北井〕

1部女子

◆2月16日(土)(岩井市総合体育館)

大崎電気31 〔15—8 16—12〕 20 日本ビクター

〔戦評〕高さ、パワーのある大崎が、立ち上がりから金のフェイント、藤井の速攻で得点を重ねリードする。一方ビクターは、中村のフェイントからの攻撃がうまくかみ合わず、得意の速攻にもミスが目立つ。後半立ち上がり、得意の速攻でビクターの工藤が2点連続得点し波に乗るかと思われたが、またミスが目立ち始め、安定した力のある大崎が振り切った。

得	〔大崎〕		〔日ビ〕	得
0	宗片	GK	小口	0
4	藤井	GK	山田	0
4	前川	FP	太田	8
5	梅原	FP	工藤	4
5	江口	FP	永岡	3
0	鷲宮	FP	中村	4
1	野田	FP	山之内	0
3	金	FP	伊藤	0
5	尹	FP	吉田	0
4	伝法谷	FP	平松	1
0	田中	FP		
31	(3)	PT	(3)	20

〔審・中山 大出〕

◆3月17日(日)(熊本市総合体育館)

オムロン18 〔9—5 9—11〕 16 シャトレーゼ

〔戦評〕前半立ち上がりからオムロンの荒いディフェンスにシャトレーゼはなかなか得点できず、逆にオムロンは武津、イエーカーがステップ、ロングを着実に決め、9—5で前半を終了。

後半、開始10分まで両チーム互角の展開となるが、この日8得点をあげたシャトレーゼ・海道の活躍にもかかわらず大事なところでのミスが目立ち、退場者が続出したオムロンに追いつくことができず、結局18—16でオムロンが制した。

得	〔オム〕		〔シャト〕	得
0	前川	GK	鈴木	0
0	川島	GK	工藤	0
0	横田	FP	小松	1
0	西村	FP	海道	8
0	中山	FP	松沢	1
6	武津	FP	小林	0
5	比嘉	FP	小野寺	2
0	斉藤	FP	合田	1
2	石村	FP	生方	0
1	古田	FP	山岸	2
4	イェーカ	FP	野沢	1
0	シャーシャ	FP	小俣	0
18	(3)	PT	(5)	16

〔審・森山 高橋〕

◆2月17日(日)(神戸市立中央体育館)

北国銀行24 〔12—8 12—5〕 13 大和銀行

〔戦評〕北国の先取点で始まり、序盤で北国が2点をリード。大和も何とか追いすがろうとするが、北国が着々と加点、逆に4点差として前半を終える。

後半、北国・呉にエンジンがかかり、金との2枚看板で着々と加点。一方大和は、エース丸田をはじめシュートを打つが、正確さに欠け得点に結びつかず、ズルズルと点差を広げられた。

得	〔北国〕		〔大和〕	得
0	木戸	GK	増見	0
0	岩井	GK	岡田	0
2	上田	FP	丸田	5
2	矢野	FP	瀬川	0
0	丹後	FP	裵川	0
4	松田	FP	上村	0
0	宮本	FP	小池	4
0	北川	FP	藤本	0
7	金	FP	松田	0
4	森	FP	又吉	4
1	谷本	FP	西口	0
4	呉	FP	日野	0
24	(5)	PT	(4)	13

〔審・北山 大原〕

◆2月23日(土)(草加市スポーツ健康都市体育館)

大崎電気23 〔10—9 13—10〕 19 北国銀行

〔戦評〕前半1分、大崎・尹のセンターからのステップシュートを皮切りにスピード感ある息もつかすことのできないゲームが始まった。その後、大崎は尹、北国は呉を中心に北国が大崎を追いかけるようなかたちで大崎の1点リードで前半を終了する。

後半、両チームともスピードが鈍り、反則やミスが目立ったが、総合力で勝る大崎が23—19で7連勝を飾る。

得	〔大崎〕		〔北国〕	得
0	宗片	GK	木戸	0
		GK	岩井	0
1	藤井	FP	上田	2
1	前川	FP	矢野	1
6	梅原	FP	丹後	0
2	江口	FP	松田	5
0	鷲宮	FP	北川	0
0	野田	FP	金	4
3	金	FP	森	0
10	尹	FP	松下	0
0	伝法谷	FP	谷本	7
0	田中	FP	呉	7
23	(0)	PT	(3)	19

〔審・宮沢・小林〕

◆2月24日(日)
（清水市営体育館）

日本ビクター 22 〔10－7／12－14〕 21 シャトレーゼ

〔戦評〕名門ビクターを支えてきた主力選手の大量引退でいまだに片目も開かず見る影もないビクターではあるが、伝統の走りは衰えていなかった。長身のアタッカー小松、海道が膝のサポーターも痛々しく、小野寺のポストと生方のカットインに頼るしかないシャトレーゼの得点能力は半減に等しい。前半25分、7－7の同点から3連取で優位に立ったビクターは、後半得意の足攻が冴え、GKからのワンパス、マイボールになってからのワンパスと絵に描いたような速攻を連発、徐々に差が開き、16分には20－14とする。ここでビクター・太田が膝を痛めて退場、リズムが狂ってシャトレーゼの追い上げを許す。さらに29分に山之内が退場、1点差となるが、辛くもビクターが逃げ切った。

得	〔日ビ〕		〔シャト〕	得
0	小口	GK	鈴木	0
0	山田	GK	工藤	0
4	太田	FP	小松	1
6	工藤	FP	海道	5
0	永岡	FP	松沢	0
4	中村	FP	小林	0
6	山之内	FP	小野寺	5
0	伊藤	FP	生方	7
0	吉田	FP	鶴田	0
2	平松	FP	成田	2
0	根本	FP	野沢	0
		FP	小俣	3
22	(2)	PT	(4)	21

〔審・細沢・清水〕

◆2月24日(日)
（京都市立体育館）

大和銀行 17 〔9－8／8－9〕 17 オムロン

〔戦評〕序盤、オムロン先行の形でゲームが進んだが、中盤以降退場者が続出した大和がよくもちこたえ、着実に加点して前半を1点リードで終る。

後半に入っても1点を争う展開で、白熱したゲームがくり広げられた。結局、両チームとも決め手に欠け、17－17の引き分けとなる。

得	〔大和〕		〔オム〕	得
0	増見	GK	前川	0
0	岡田	GK	川島	0
7	丸田	FP	横田	0
0	瀬川	FP	西村	1
1	袰川	FP	中山	0
1	上村	FP	武津	0
7	小池	FP	比嘉	7
0	渡辺	FP	斉藤	0
0	高尾	FP	石村	4
1	松田	FP	古田	0
0	又吉	FP	イェーカ	4
0	西口	FP	シャーミャ	1
17	(3)	PT	(6)	17

〔審・川島・森〕

◆3月3日(日)
（徳島市立体育館）

大崎電気 36 〔14－12／22－15〕 27 シャトレーゼ

〔戦評〕前半立ち上がり、大崎・梅原のポストや金のステップシュートなどでリード。中盤に入り、シャトレーゼが速攻、PTなどで逆転し、さらに20分、大崎に退場者が出てチャンスとなったが点差を広げることができなかった。逆にその後、大崎の堅いディフェンスに守り切られ、速攻を中心とする攻めで逆転を許した。

後半に入り、互いに得点を取り合う展開となったが、大崎が金、尹のコンビの多彩なパスワークでシャトレーゼ・ディフェンスをほんろうし、ポスト、サイドからのシュートで得点を重ねていった。シャトレーゼも生方のカットイン、ポストプレーなどで対抗したが、じりじりと点差が広がっていった。

得	〔大崎〕		〔シャト〕	得
0	宗方	GK	鈴木	0
		GK	工藤	0
0	藤井	FP	小松	6
0	前川	FP	海道	2
8	梅原	FP	小林	5
6	江口	FP	小野寺	0
1	鷲宮	FP	合田	2
0	野田	FP	生方	6
8	金	FP	山岸	4
7	尹	FP	鶴田	0
4	伝法谷	FP	小俣	2
2	酒井	FP	李	0
36	(3)	PT	(1)	27

〔審・武智・松原〕

◆3月3日(日)
（佐賀県総合体育館）

北国銀行 25 〔13－5／12－11〕 16 オムロン

〔戦評〕北国銀行・矢田のシュートで先行したが、オムロンのイェーカのステップシュートで同点とした。しかし、北国銀行・金の活躍により点差を広げ、13－5で前半を折り返した。

後半、オムロンは金にマンツーマン・ディフェンスをしたりして一時期追い上げムードになったが、パスミスからの逆速攻などで差が縮まらなかった。

得	〔北国〕		〔オム〕	得
0	木戸	GK	前川	0
0	岩井	GK	川島	0
2	上田	FP	横田	0
3	矢野	FP	西村	2
0	丹後	FP	中山	1
2	松田	FP	武津	2
0	北川	FP	比嘉	4
9	金	FP	斉藤	0
0	森	FP	石村	4
1	松下	FP	古田	0
3	谷本	FP	イェーカ	3
5	呉	FP	シャーミャ	0
25	(2)	PT	(6)	16

〔審・大和・中園〕

◆3月10日(日)
（和歌山県立体育館）

大和銀行 29 〔14－11／15－8〕 19 日本ビクター

〔戦評〕立ち上がり大和のペースで進行したが、中盤ビクター・工藤のサイドシュートなどで2点差とする。しかし、大和・丸田、袰川の効果的なロングシュート、また上村の好シュートで逆に3点をリードして前半を終える。

後半、ビクターはサイドからのシュートが主体で、正面からの攻撃は大和に阻まれ、パスに無理が出て逆速攻を受ける。大和は丸田、袰川のロングシュートとポストプレーで着実に得点を重ね、大差をつける。

得	〔大和〕		〔日ビ〕	得
0	増見	GK	小口	0
0	岡田	GK	山田	0
6	丸田	FP	太田	0
4	袰川	FP	工藤	3
7	上村	FP	永岡	2
5	小池	FP	中村	6
0	藤本	FP	山之内	4
3	渡辺	FP	伊藤	3
1	高尾	FP	吉田	0
1	松田	FP	平松	1
1	又吉	FP	根本	0
1	西口	FP		
29	(2)	PT	(2)	19

〔審・馬場・浜田〕

◆3月16日(土)
（石岡市運動公園体育館）

北国銀行 29 〔14－8／15－7〕 15 日本ビクター

〔戦評〕前半開始10分間、ビクターは全くリズムをつかめず、北国は金と呉のロングシュートなどで着々と加点、13分までに7－0とリードを広げる。15分過ぎからは両チームとも一進一退をくり返し14－8で前半を終了。

後半、ゲーム内容が雑になり、速攻戦となる。しかし、スピード、パワーに勝る北国が呉の9得点をたたき出す活躍で29－15でビクターに快勝した。

得	〔日ビ〕		〔北国〕	得
0	小口	GK	木戸	0
0	山田		岩井	0
0	太田	FP	上田	1
4	工藤		矢野	3
2	永岡		松田	2
2	中村	〔審・小笠原 浜田〕	塙	2
3	山之内		北川	0
1	伊藤		金	5
0	吉田		森	2
3	平松		松下	0
0	根本		谷本	5
			呉	9
15	(3)	PT	(6)	29

◆3月17日(日)
(相模原市総合体育館)

オムロン27 〔13－8 14－12〕 20大崎電気

〔戦評〕互角の立ち上がりだったが、前半10分過ぎ、大崎・梅原の負傷退場で大崎は攻撃のリズムを崩す。オムロンは速攻とPTで着実に加点する。大崎の尹、金の主砲コンビは精彩を欠き、前半オムロンが5点をリードして折り返す。

後半に入ってもオムロンは好調に得点を重ねるのに対し、大崎は尹の単発シュートで食い下がるのが精一杯。危げなくオムロンが逃げ切った。

大崎の連勝記録は28でストップ。ストップをかけたのが連勝記録31を誇るオムロンというのも何かの因縁か。

得	〔大崎〕		〔オム〕	得
0	宗片	GK	前川	0
			川島	0
1	藤井	FP	横田	0
2	前川		西村	2
1	梅原		中山	4
0	江口	〔審・水越 上小沢〕	武津	4
1	鷲宮		毛利	0
0	野田		比嘉	10
4	金		石村	4
7	尹		古田	0
0	伝法谷		イェーカ	3
0	田中		ズラブカ	0
20	(2)	PT	(7)	27

◆3月17日(日)
(奈良市中央体育館)

大和銀行24 〔12－14 12－10〕 24シャトレーゼ

〔戦評〕両チームとも立ち上がりから一進一退のゲームであり、大和は丸田のロングシュートを中心に、シャトレーゼは李を中心としたコンビプレーで試合は進んだ。

後半、シャトレーゼが積極的なディフェンスにより大和のミスを誘い、後半15分で5点差としたが大和は丸田のロングシュート、上村の気迫あふれるプレーでじりじり追い上げ、残り35秒、上村の速攻で劇的な同点として終えた。

得	〔シャト〕		〔大和〕	得
0	鈴木	GK	増見	0
0	工藤		岡田	0
1	小松	FP	丸田	9
6	海道		褱川	0
3	松沢		上村	6
0	小林	〔審・北山 大原〕	小池	4
5	小野寺		藤本	0
0	合田		渡辺	1
4	山岸		高尾	1
2	野沢		又吉	2
1	小俣		西口	1
2	李		日野	0
24	(4)	PT	(2)	24

◆3月23日(土)
(東京都体育館)

北国銀行25 〔10－8 15－7〕 15シャトレーゼ

〔戦評〕シャトレーゼは立ち上がりよりミスの連続で、チームのリズムがとれないまま前半を終る。また、北国はGKの好守も手伝い好ゲームを展開。

後半も流れは変わらず、シャトレーゼはミスの連続で、速攻、金のロングシュートなどで着々と得点を重ねる北国がリードを広げる。

得	〔シャト〕		〔北国〕	得
0	鈴木	GK	木戸	0
0	工藤		岩井	0
3	海道	FP	上田	3
1	松沢		矢野	1
1	小林		丹後	1
0	小野寺	〔審・浜田 小笠原〕	松田	5
1	生方		北川	1
7	山岸		金	5
1	鶴田		森	1
1	野沢		松下	0
0	小俣		谷本	3
0	李		呉	5
15	(6)	PT	(1)	25

◆3月24日(日)
(東京都体育館)

オムロン28 〔15－7 13－10〕 17日本ビクター

〔戦評〕開始早々オムロン・グラリュのロングシュートで先制。その後も中山の速攻、武津、西村のミドルシュートで加点し、前半10分まで5－1とリード。ビクターも13分、工藤の速攻で反撃するがオムロンのグラリュと武津のディフェンスの壁を打ち破れず前半は15－7とオムロンのリードで終る。

後半4分にビクター・山内のロング、中村の速攻の連続得点で追い上げを図るが、オムロンも8分西村のポストシュートで突き放す。ビクターの集中力が次第に薄れて不要な退場者が出て中盤からオムロンの一方的なペースとなり、16分には22－11とダブルスコアとなった。結局28－17でオムロンが圧勝した。

得	〔日ビ〕		〔オム〕	得
0	小口	GK	前川	0
0	山田		川島	0
1	太田	FP	横田	0
7	工藤		西村	5
0	永岡		中山	6
2	中村	〔審・岡本 清水〕	武津	3
5	山之内		毛利	1
1	伊藤		比嘉	5
0	吉田		石村	6
1	平松		古田	0
0	根本		イェーカ	2
			ズラブカ	0
17	(2)	PT	(4)	28

◆3月24日(日)
(東京都体育館)

大崎電気28 〔14－14 14－12〕 26大和銀行

〔戦評〕前半立ち上がり、大和は連続して得点を重ね、15分までに8－3とリードするも、大崎・金、尹がカットイン、ポストシュートを打ち、前半は14－14の同点で終る。

後半、両チームともセットからボールを回し、カットインと同じような攻撃で展開する。20分までは一進一退で進むが、ディフェンスの動きが鈍くなった大和に対し大崎・金が貴重な得点をあげ、2点差として大崎が逃げ切った。

得	〔大和〕		〔大崎〕	得
1	増見	GK	宗片	0
0	岡田			
7	丸田	FP	藤井	3
6	褱川		前川	3
5	上村		梅原	4
1	小池	〔審・後藤 島田〕	江口	3
1	藤本		鷲宮	0
0	渡辺		金	6
2	高尾		福井	0
2	又吉		尹	9
1	西口		伝法谷	0
0	山尾		酒井	0
26	(1)	PT	(2)	28

2部男子

◆2月16日(土)（岩井市体育館）

トヨタ車体 34 （17－15、17－11） 26 日鉄建材

〔戦評〕前半5分、日鉄建材が4－2と速攻を主にリードしたが、10分過ぎからトヨタの長野のフェイント、ミドルが決まりだし、流れがトヨタに変わって来て、17－15とトヨタが2点をリードして前半を終る。
　後半、日鉄は果敢に攻めるが、ノーマークシュートのミスでチャンスをつかめずトヨタのペース。後半もテクニックの長野を中心に両フローターが得点をあげ、34－26でトヨタ車体が勝った。

	〔日鉄〕	得	〔車体〕	得
GK	古里	0	宮田	0
GK	川上	0		
FP	杉本	1	君島	10
FP	久保田	2	赤星	4
FP	山口	9	河合	7
FP	谷内	0	寺島	0
FP	鹿蔦	6	寺沢	1
FP	上山	4	長野	11
FP	外山	0	水田	1
FP	池辺	0	大原	0
FP	板井	4		
PT		(1)		(0)
		26		34

〔審・水野 富永〕

◆2月16日(土)（岩手県営体育館）

三景 31 （19－11、12－12） 23 豊田自動織機

〔戦評〕前半開始早々、豊田自織・大澤のゲットで先行、一進一退の展開ながら20分過ぎまで豊田が主導権を握っていたが、ディフェンスが甘くなったスキをつかれ、三景の清田、福士らの連続ゲットで一気に逆転された。逆転に成功した三景は攻撃の手をゆるめず一気に突き放し、前半で勝負を決めた。
　後半に入っても三景はじりじりと加点、豊田も粘りを見せたが、前半の点差をつめることはできず8点差で三景が勝った。

	〔自織〕	得	〔三景〕	得
GK	柴田	0	中村	0
GK	中村	0	石井	0
FP	蟹江	0	高橋	0
FP	奥畑	2	金井	8
FP	大沢	2	清田	4
FP	倉田	2	小金山	6
FP	小川	5	木原	2
FP	鎌田	0	高橋	2
FP	杉浦	3	吉野	0
FP	大野	8	近藤	1
FP	山田	0	福士	7
FP	伊藤	1	高橋	1
PT		(2)		(1)
		23		31

〔審・田村 高橋〕

◆2月17日(日)（東海市民体育館）

日本電装 24 （11－13、13－11） 24 大阪ガス

〔戦評〕前半7分過ぎ5－2と日本電装が3点をリード、電装ペースで試合が進むかに見えたが、大阪ガスも奥野の速攻、加地のミドルシュートにより15分過ぎに追いつき、シーソーゲームをくり返して13－11と大阪ガスが2点をリードして前半を折り返す。
　後半も日本電装・笠、大阪ガス・加地を中心に追いつ追われつの戦いを進め、最後まで気の抜けない試合となった。結局24－24の同点で試合は終了。

	〔電装〕	得	〔ガス〕	得
GK	高橋	0	福田	0
GK	福山	0	森	0
FP	杉村	3	奥野	3
FP	橋本	2	加地	8
FP	久本	3	合田	1
FP	井上	3	岩本	0
FP	笠	6	中村	4
FP	岡崎	2	長田	2
FP	樋口	0	田坂	3
FP	梅井	2	濱田	0
FP	難波	4	大川	3
FP	柴田	2	Zeke	0
PT		(3)		(2)
		24		24

〔審・浅野 工藤〕

◆2月17日(日)（熊本市総合体育館）

本田技研熊本 31 （15－9、16－10） 19 竹芝精巧

〔戦評〕前半、両チームともパス、キャッチのミスが目立つなか、本田技研熊本・松村のロングシュートがよく決まり、また竹芝のミスを突いて速攻をよく決めていた。前半は15－9と本田が6点リードして終了。後半に入っても前半同様両チームにミスが目立ち、互いに相手のミスを利用して得点をするなか、本田が速攻を重ね、また松村のロングシュートもよく決まり、大差で本田が勝利を収めた。

	〔竹芝〕	得	〔本田〕	得
GK	松川	0	宮本	0
GK			中尾	0
FP	中間	9	矢野	2
FP	桐木	3	三代	5
FP	馬場	1	松村	7
FP	三本	1	田中	4
FP	今村	4	山口	2
FP	坂元	0	田中	1
FP	野崎	1	堀内	4
FP	土肥	0	寺島	3
FP	長野	0	大中	3
FP			児玉	0
PT		(4)		(2)
		19		31

〔審・松島 新藤〕

◆2月23日(土)（四日市市体育館）

日鉄建材 23 （10－8、13－12） 20 豊田自動織機

〔戦評〕前半、両チームとも攻撃に精彩がなく、22分で4－4というロースコアの展開。日鉄はその後上山のシュートなどで8－6と前半をリードする。
　後半に入って、豊田自織は相手のミスに乗じて速攻などで5点を連取して逆転したが、日鉄は20分に追いつき、27分にPTを上山が決めてそのまま振り切った。

	〔自織〕	得	〔日鉄〕	得
GK	柴田	0	古里	0
GK	中村	0		
FP	蟹江	0	杉本	2
FP	奥畑	0	山口	6
FP	大沢	4	谷内	0
FP	諫山	0	鹿蔦	5
FP	倉田	4	上山	9
FP	小川	6	外山	0
FP	鎌田	0	池辺	0
FP	杉浦	4	板井	1
FP	山田	2		
FP	伊藤	0		
PT		(2)		(4)
		20		23

〔審・中森 藪内〕

◆2月23日(土)（草加市スポーツ健康都市体育館）

三景 32 （17－9、15－14） 23 トヨタ車体

〔戦評〕三景・福士のミドルシュートで始まったこの試合、立ち上がりから三景が押し気味の展開で進められていった。序盤、固さの見えるトヨタ車体は三景の1・5ディフェンスを攻め切れずにミスを重ね、そのボールを恰われる形で点差が広がった。速攻に加えてスピーディなクロスとパワフルなシュートを駆使する三景は、余裕のある展開から福士、高橋が打ち込み、前半で大差をつけて勝敗を決した。

	〔車体〕	得	〔三景〕	得
GK	宮田	0	中村	0
GK			石井	0
FP	君島	10	高橋	8
FP	赤星	5	金井	7
FP	河合	2	清田	3
FP	寺島	1	小金山	5
FP	寺沢	1	木原	1
FP	長野	3	高橋	1
FP	水田	1	吉野	0
FP	大原	0	近藤	2
FP			福士	5
FP			高橋	0
PT		(3)		(2)
		23		32

〔審・池田 岩本〕

◆2月24日(日)（清水市営体育館）

本田技研熊本 32 （13－9、19－10） 19 日本電装

〔戦評〕本田は田中の球回しから松林、三代らのスピードプレーで得点、日本電装は笠のガッツあふ

れるリードでサインプレーや難波のロングで観客を引き出し、目まぐるしい攻防で観客を沸かせた。前半16分過ぎからの3連続失点が響いて9－13と4点差を追う日本電装は後半13分に16－19と追撃の勢いは見せたものの、その後本田のよく足の動くディフェンスの前に沈黙、カットからの速攻で逆に9分間で11連続失点、勝敗は決した。

得	〔日立〕		〔ジャ〕	得
0	梅津	GK	小林	0
1	吉鶴	FP	今井	3
0	神永		東出	4
0	神長		勝島	6
2	柳田		稲田	3
8	飯塚		山田	4
6	尾苗		川井	4
7	市来		小沼	0
2	新井		徳永	0
0	堤		土師	0
1	貴田		松村	0
27	(1)	PT	(3)	24

〔審・佐藤・佐々木〕

◆2月24日(日)（京都市立体育館）

竹芝精巧21 〔12－9, 9－10〕 19大阪ガス

〔戦評〕前半、竹芝が先行しゲームが展開されたが、サイド、ポストシュートを中心に大阪ガスが逆転、1点差で前半を終了する。

後半に入っても一進一退の攻防がくり広げられたが、大阪ガスのシュートミスを竹芝がうまく生かして逆転、2点差で逃げ切る。

得	〔竹芝〕		〔ガス〕	得
0	桜川	GK	福田	0
			森	0
7	中間	FP	奥野	2
4	桐木		加地	3
2	馬場		合田	1
1	三本		岩本	1
0	今村		中村	4
2	坂元		長田	4
5	野崎		田坂	2
0	土肥		濱田	1
0	長野		大川	1
0	森口		Zeke	0
21	(1)	PT	(1)	19

〔審・丸谷・奥田〕

◆3月2日(土)（貝塚市民体育館）

本田技研熊本22 〔14－12, 8－9〕 21日鉄建材

〔戦評〕三代の好シュートなどで終始リードを奪った本田技研が14－12で折り返し、さらに後半15分寺島のカットインシュートが決まって5点のアヘッドで勝負あったかに見えた。しかし、ディフェンスの立ち直りを見せた日鉄建材がじりじりと追い上げ、板井のロングシュートのあと、上山のペナルティで残り2分で本田に追いついた。結局、三代の粘り強いシュートで本田技研が辛うじて逃げ切ったが、両チームともにチャンスでのシュートミスが目立った。

得	〔本田〕		〔日鉄〕	得
0	宮本	GK	古里	0
0	中尾		川上	0
0	矢野	FP	杉本	0
7	三代		久保田	0
4	松村		山口	2
1	田中		谷内	0
0	山口		鹿嶌	2
1	田中		上山	7
0	堀内		外山	0
5	寺島		池辺	3
3	大中		板井	7
1	児玉			
22	(1)	PT	(4)	21

〔審・浅井・岸本〕

◆3月2日(土)（貝塚市民体育館）

竹芝精巧23 〔13－11, 10－11〕 22豊田自動織機

〔戦評〕倍の数のシュートを打った竹芝が13－11と2点をリードして前半を折り返す。しかし後半、ディフェンスの甘さと凡ミスから豊田に簡単につかまり、8分には13－18と逆転された。ところが、今度は豊田にパスミス、シュートミス、ディフェンスミスが続き、1点を争うシーソーゲームとなった。終盤、豊田にチャンスがあったが凡ミスで自滅した。

得	〔竹芝〕		〔自織〕	得
0	桜川	GK	柴田	0
			中村	0
6	中間	FP	蟹江	0
3	桐木		奥畑	0
3	馬場		大沢	7
3	三本		倉田	5
4	坂元		小川	1
4	野崎		鎌田	4
0	土肥		杉浦	4
0	長野		山田	1
			伊藤	0
			田上	0
23	(2)	PT	(1)	22

〔審・吉田・源野〕

◆3月2日(土)（貝塚市民体育館）

三景30 〔15－7, 15－12〕 19大阪ガス

〔戦評〕三景の速攻が大阪ガスの出足をくじき、一方的なゲーム展開となった。大阪ガス・加地のシュートが決まらず、三景の速攻の餌食となった。三景・金井、高橋のコンビが冴え、勝負は前半で決した。

後半、大阪ガスは加地のシュートや速攻を交え反撃を試みたが続かず、三景の足についていけなかった。

得	〔三景〕		〔ガス〕	得
0	中村	GK	福田	0
0	石井		森	0
2	斉藤	FP	奥野	1
9	高橋		加地	6
10	金井		合田	3
1	清田		中村	2
3	小金山		長田	1
2	木原		田阪	1
1	高橋		濱田	0
0	吉野		大川	5
1	近藤		Zeke	0
1	福士			
30	(4)	PT	(3)	19

〔審・馬場・浜田〕

◆3月2日(土)（貝塚市体育館）

日本電装28 〔15－9, 13－12〕 21トヨタ車体

〔戦評〕前半、日本電装は笠のミドルがよく決まり、一方トヨタ車体も河合のロングシュートで対抗したが、日本電装が6点をリードして前半を終了。

得	〔電装〕		〔車体〕	得
0	高橋	GK	宮田	0
0	福山			
2	橋本	FP	君島	4
1	久本		赤星	2
1	岸田		河合	7
4	井上		寺島	0
9	笠		平野	0
3	樋口		寺沢	0
1	近藤		長野	5
4	梅井		水田	3
3	難波		大原	0
0	柴田			
28	(2)	PT	(3)	21

〔審・村尾・佐谷〕

後半に入って、電装は難波のロングシュート、笠のミドルシュートで加点、車体も長野のミドルシュートで反撃するが、前半の点差を縮めることはできず、日本電装が7点差で勝利を収めた。

◆3月3日(日)
(貝塚市民体育館)

本田技研熊本 36 〔16－10 / 20－7〕 **17 豊田自動織機**

〔戦評〕攻撃力に勝る本田技研が寺島を軸に着実に得点を重ね、16－10と前半を6点リードして折り返した。

後半に入ってもパワー、スピードともに衰えず、速攻を中心にポイントを連取、豊田自動織機は単発的な攻撃のみで凡ミスから本田の走りを許し、ワンサイドゲームとなった。

得	〔本田〕		〔自織〕	得
0	宮本	GK	柴田	0
0	中尾		中村	0
1	矢野	FP	蟹江	0
10	三代		奥畑	0
6	松村		大沢	4
0	田中		諌山	5
0	山口	〔審・佐谷　村尾〕	倉田	0
1	田中		小川	2
8	堀内		鎌田	0
8	寺島		杉浦	4
2	大中		伊藤	0
0	児玉		田上	2
36	(1)	PT	(3)	17

◆3月3日(日)
(貝塚市民体育館)

竹芝精巧 29 〔14－8 / 15－14〕 **22 日鉄建材**

〔戦評〕竹芝の巧みな攻防が雑な大型チーム、日鉄建材を一蹴した。中間を軸に桐木、馬場が加わり、竹芝が調子が上がらぬ日鉄の出足をくじき14－8で前半を終った。

前日、本田技研熊本に1点差の善戦をした日鉄だけに期待も大きかったが、攻撃面でパスミスが目立ち、後半も竹芝の速攻を好餌となり、防御面でもGKとのコンビネーションがいまひとつ見るべきものもなく、内容以上の大差で竹芝が勝利を収めた。

得	〔竹芝〕		〔日鉄〕	得
0	桜川	GK	古里	0
			川上	0
4	中間	FP	杉本	3
10	桐木		山口	7
7	馬場	〔審・馬場　浜田〕	谷内	1
0	三本		鹿嶌	7
3	坂元		上山	2
3	野崎		外山	0
1	土肥		池辺	0
1	長野		板井	2
29	(3)	PT	(3)	22

◆3月3日(日)
(貝塚市民体育館)

三景 35 〔15－11 / 20－16〕 **27 日本電装**

〔戦評〕スピーディで激しい攻防戦は見応えのある好ゲームであった。シュート力にやや安定感のある三景が日本電装を振り切って11勝目をあげた。

三景は速攻を武器に動きの速さで電装にプレッシャーをかけ、前半15－11とリード、後半も終始セイフティリードを保ちながら福士の好シュートなどで食い下がる電装を振り切った。

得	〔三景〕		〔電装〕	得
0	中村	GK	高橋	0
0	石井		福山	0
5	斉藤	FP	橋本	2
6	高橋		久本	2
8	金井		井上	5
5	清田	〔審・吉田　源野〕	笠	2
0	小金山		岡崎	0
0	木原		樋口	4
0	高橋		近藤	2
0	吉野		梅井	6
4	近藤		難波	4
7	福士		柴田	0
35	(4)	PT	(4)	27

◆3月3日(日)
(貝塚市民体育館)

大阪ガス 22 〔12－8 / 10－7〕 **15 トヨタ車体**

〔戦評〕大阪ガスが珍しくうまいゲーム運びでトヨタ車体を下し今季初勝利をあげた。

勝因の第一は、GK・福田の好守、第二に加地の好シュート、第三は何といってもベンチとプレーヤーの一体感だった。

敗れたトヨタ車体は、攻防に昨日の冴えが見られず、チームリーダーの長野の不調が全体のリズムをもうひとつ盛り上げることができず、追撃がならなかった。

得	〔ガス〕		〔車体〕	得
0	福田	GK	宮田	0
0	森		工藤	0
2	奥野	FP	君島	6
8	加地		赤星	3
0	竹志		河合	3
0	合田	〔審・　〕	寺島	0
5	中村		平野	0
0	長田		寺沢	2
2	田坂		長野	1
0	濱田		水田	0
5	大川		大原	0
0	Zeke			
22	(1)	PT	(2)	15

◆3月10日(日)
(豊橋市総合体育館)

日本電装 23 〔12－10 / 11－11〕 **21 竹芝精巧**

〔戦評〕立ち上がりからスピードに乗って走り合い、GKの好守もあり点差は開かず、2点差がついたのは前半18分過ぎ。以後一度も3点差はつかなかった。

後半24分、桐木の速攻で18－19の1点差とした竹芝だが、電装もすかさず盛り返し、以後3点ずつ交互に得点し残り2分、野崎のミドルで1点差。しかし、残り35秒野崎のシュートがゴールを外れ、電装が逃げ切った。

得	〔電装〕		〔竹芝〕	得
0	高橋	GK	桜川	0
0	福山			
2	橋本	FP	中間	3
3	久本		桐木	5
1	岸田		馬場	2
2	笠	〔審・内藤　佐塚〕	三本	3
1	岡崎		今村	1
5	樋口		坂元	2
0	近藤		野崎	5
4	梅井		土肥	0
5	難波		長野	0
0	柴田			
23	(1)	PT	(1)	21

◆3月10日(日)
(呉市体育館)

大阪ガス 31 〔15－8 / 16－9〕 **17 日鉄建材**

〔戦評〕大阪ガスが着々と得点を重ねたのに対し、日鉄建材は前半の立ち上がりと15分過ぎとともに各々5分間、後半も10分間も得点がなく、むらっ気があった。

大阪ガス・加地の10得点が目立ったが、両チームともラフプレーが多く、得点差もあって試合そのものは盛り上がりに欠けたものとなった。

	〔日鉄〕	得	〔ガス〕	得
GK	古里	0	福田	0
GK			森	0
FP	杉本	0	奥野	4
FP	山口	2	加地	10
FP	谷内	1	竹志	0
FP	鹿嶌	5	合田	2
FP	上山	5	中村	4
FP	外山	0	長田	2
FP	池辺	4	田坂	3
FP	板井	4	濱田	6
FP			大川	0
FP			Zeke	0
PT		(0)		(4)
		17		31

審・池田　久保田

◆3月10日(日)（呉市体育館）

トヨタ車体 29 （14−12, 15−7） 19 豊田自動織機

〔戦評〕前半開始7分までは、豊田自動織機は倉田を中心としたバランスの取れた攻撃で5−2とリードしたが、トヨタ車体は君島のロングシュートで加点し、10分過ぎに同点とした。この後も君島のロングシュート、長野のミドルシュートなどで加点し、14−12と逆に2点をリードして前半を終了。

後半は開始頃から車体GK・宮田を中心とした固い守りに豊田織機は単調な攻撃となり加点できない。一方、車体は君島のロングシュート、水田、赤星のサイドシュート、長野のミドルシュートで着実に加点、15分には22−15として勝敗を決定づけた。

	〔自織〕	得	〔車体〕	得
GK	柴田	0	宮田	0
GK	中村	0		
FP	蟹江	0	君島	12
FP	奥畑	0	赤星	3
FP	大沢	5	河合	5
FP	諌山	0	寺島	0
FP	倉田	6	平野	0
FP	小川	2	寺沢	1
FP	鎌田	1	長野	5
FP	杉浦	3	水田	3
FP	山田	2	大原	0
FP	田上	0		
PT		(1)		(0)
		19		29

審・塩田　菊池

◆3月16日(土)（知立市福祉体育館）

竹芝精巧 28 （10−14, 18−8） 22 トヨタ車体

〔戦評〕前半、トヨタ車体・長野、竹芝・中馬を中心に点の取り合いとなったが、車体GK・宮田のノーマーク時の好キーピングにより4点をリードして前半を終了。

後半もこのまま車体のリズムで進むかに見えたが、竹芝は動きが見違えるぐらい良くなり、速攻を含めた攻めで得点を重ね19分過ぎに逆転。車体のディフェンスの甘さも目立ち、竹芝のペースに終った。

	〔車体〕	得	〔竹芝〕	得
GK	宮田	0	桜川	0
GK	工藤	0		
FP	君島	8	中間	8
FP	赤星	0	桐木	4
FP	河合	7	馬場	6
FP	寺島	0	三本	3
FP	平野	0	今村	3
FP	寺沢	2	坂元	0
FP	長野	3	野崎	4
FP	水田	2	土肥	0
FP	大原	0	長野	0
PT		(3)		(1)
		22		28

審・清水　太田

◆3月16日(土)（知立市福祉体育館）

三景 43 （24−10, 19−13） 23 日鉄建材

〔戦評〕前半のはじめは両チーム得点を重ねていったが、なかばから三景の動きが良くなり、日鉄建材のパスをカットし、速攻で得点を重ね、24−10と大差をつけて前半を終了した。

後半は三景のディフェンスのつめが甘くなる。日鉄はロングシュート、ミドルシュートで得点を重ねたが、前半の点差が大き過ぎ、三景の圧勝で終った。

	〔日鉄〕	得	〔三景〕	得
GK	古里	0	中村	0
GK			石井	0
FP	杉本	0	斉藤	7
FP	久保田	0	高橋	9
FP	山口	10	金井	16
FP	谷内	0	清田	3
FP	鹿嶌	3	小金山	1
FP	上山	5	木原	0
FP	外山	1	高橋	1
FP	池辺	1	吉野	0
FP	板井	3	近藤	0
FP			福士	1
PT		(4)		(7)
		23		43

審・松原　浅野

◆3月16日(土)（知立市福祉体育館）

日本電装 30 （13−7, 17−10） 17 豊田自動織機

〔戦評〕立ち上がり豊田自動織機が先制したもののすぐに日本電装が反撃、5分過ぎには5−1とする。しかし、ここから電装に細かいミスが出て追い上げを許し、17分には6−5となる。だが、ここから再び電装が走り回って13−7で前半を終了した。波の大きい電装の試合運びである。

一方の豊田自動織機は、大野が退部し、奥細、蟹江がスタミナ不足からベンチウォーマーとなり、得点力はガタ落ちとなり、後半に入っても電装のペースで、30−17で電装が勝利を収めた。

	〔自織〕	得	〔電装〕	得
GK	柴田	0	高橋	0
GK	中村	0	福山	0
FP	蟹江	0	橋本	5
FP	奥畑	0	久本	2
FP	大沢	5	岸田	2
FP	倉田	4	井上	2
FP	小川	0	笠	8
FP	鎌田	4	樋口	1
FP	杉浦	2	近藤	1
FP	山田	2	梅井	4
FP	伊藤	0	難波	4
FP	田上	0	森迫	1
PT		(0)		(2)
		17		30

審・夏目　神谷

◆3月16日(土)（知立市福祉体育館）

本田技研熊本 25 （10−6, 15−13） 19 大阪ガス

〔戦評〕戦前の予想では本田技研

熊本のペースで進むと思われた試合も、立ち上がりより固さの見える本田に対しリラックスムードの大阪ガスが善戦、前半を10－6で終了。
後半に入り、1部入りを目指す本田は意地でも点差を開いて最終戦に臨むべく頑張り、加地を中心に粘る大阪ガスを突き放し、25－19で快勝した。

	〔ガス〕	得
GK	福田	0
	森	0
FP	奥野	1
	加地	9
	合田	0
	中村	2
	長田	1
	田坂	3
	濱田	3
	大川	0
	Zeke	0
PT	(3)	19

〔審・松原 河合〕

	〔本田〕	得
GK	宮本	0
	坂本	0
FP	矢野	0
	三代	3
	松村	4
	田中	2
	山口	0
	田中	0
	堀内	5
	寺島	4
	大中	7
	児玉	0
PT	(0)	25

◆3月17日(日)
（知立市福祉体育館）

本田技研熊本 22（14－11／8－9）20 トヨタ車体

〔戦評〕立ち上がりより攻守の切り替えの早い試合となった。本田技研熊本のポストプレー、トヨタ車体・君島を中心とした攻撃でおもしろい試合となった。
トヨタ車体は後半26分、君島の得点で21－20と1点差としたが、本田・松村が終了30秒前に得点をあげ突き放した。

	〔車体〕	得
GK	宮田	0
	工藤	0
FP	君島	8
	赤星	2
	崎野	0
	河合	4
	寺島	1
	平野	0
	寺沢	1
	長野	4
	水田	0
	大原	0
PT	(1)	20

〔審・清水 太田〕

	〔本田〕	得
GK	宮本	0
	坂本	0
FP	矢野	0
	三代	1
	松村	4
	田中	4
	山口	2
	田中	3
	堀内	3
	寺島	5
	大中	0
	児玉	0
PT	(2)	22

◆3月17日(日)
（知立市福祉体育館）

三景 36（19－8／17－13）21 竹芝精巧

〔戦評〕共に速攻を主としたチームであるが三景の速攻が上回り、また三景のディフェンスのもどりが速く、竹芝の速攻が止められて19－8と三景が大きくリードして前半を終了。
後半のはじめは三景が速攻で得点を重ね、このまま進むかと思われたが、竹芝は絶妙なポストプレーを使ったパスワークでポスト、サイドとつなぎ粘りを見せる。しかし、点差を縮めることはできず、大差で三景が勝利を収めた。

	〔竹芝〕	得
GK	桜川	0
FP	中間	5
	桐木	6
	馬場	1
	三本	2
	今村	1
	坂元	0
	野崎	6
	土肥	0
	長野	0
	森口	0
PT	(3)	21

〔審・足立 坪井〕

	〔三景〕	得
GK	中村	0
	石井	0
FP	斉藤	4
	高橋	6
	金井	14
	清田	4
	小金山	1
	木原	0
	高橋	0
	吉野	0
	近藤	2
	福士	5
PT	(3)	36

◆3月17日(日)
（知立市福祉体育館）

日本電装 34（18－6／16－11）17 日鉄建材

〔戦評〕若さあふれる日本電装は攻守に日鉄建材を上回り、前半から速攻、相手ディフェンスの甘さをつき着々と得点を重ね、前半にて18－6と大きく引き離した。
後半に入っても日本電装の動きは止まらず、日鉄建材を圧倒し快勝した。

	〔日鉄〕	得
GK	古里	0
FP	杉本	3
	久保田	0
	山口	2
	谷内	1
	鹿嶌	3
	上山	1
	外山	3
	池辺	1
	板井	3
PT	(1)	17

〔審・坂本 宇尾野〕

	〔電装〕	得
GK	高橋	0
	福山	0
FP	杉村	4
	橋本	3
	久本	1
	井上	3
	笠	10
	岡崎	0
	樋口	4
	近藤	2
	梅井	6
	難波	1
PT	(4)	34

◆3月17日(日)
（知立市福祉体育館）

大阪ガス 26（15－11／11－10）21 豊田自動織機

〔戦評〕前半はそれぞれのチームの持ち味を生かし、追いつ追われつの試合、15－11で大阪ガスが一歩リードして前半を終了。
後半も前半と同じような展開となったが、大阪ガスは突き放そう、反対に豊田自動織機は追いつきたいとのあせりで大事なところで得点できず、26－21で大阪ガスが勝利を収めた。

	〔自織〕	得
GK	柴田	0
	中村	0
FP	蟹江	2
	奥畑	0
	大沢	6
	諌山	0
	倉田	4
	小川	2
	鎌田	3
	杉浦	2
	山田	2
	伊藤	0
PT	(2)	21

〔審・浅野 玉田〕

	〔ガス〕	得
GK	福岡	0
	森	0
FP	奥野	3
	加池	8
	合田	0
	中村	4
	長田	5
	田坂	1
	濱田	5
	大川	0
	Zeke	0
PT	(3)	26

◆3月24日(日)
（東京体育館）

三景 22（10－10／12－8）18 本田技研熊本

〔戦評〕お互いに全勝同士で最終戦での対決となった。大事な一戦とあって両チームとも固い立ち上がりを見せたが、先行したのは三景。しかし、本田が追いつき、以後、先手をとる三景に本田が追いつくという展開で、10－10の同点で前半を折り返す。
後半は本多が先手をとり、この試合初めてリードを奪ったが、三景はすぐに金井のシュートなどで逆転、20分には19－15と4点をリード、そのままリードを守って粘る本田をふり切った。

	〔本田〕	得
GK	宮本	0
	中尾	0
FP	矢野	0
	三代	4
	松村	3
	田中	1
	山口	1
	田中	5
	堀内	0
	寺島	2
	大中	1
	児玉	1
PT	(1)	18

〔審・仲村 植田〕

	〔三景〕	得
GK	中村	0
	石井	0
FP	斉藤	3
	高橋	2
	金井	10
	清田	3
	小金山	1
	木原	0
	高橋	0
	吉野	0
	近藤	2
	福士	1
PT	(2)	22

〔最終順位〕

①三　景
②本田技研熊本
③日本電装
④竹芝精巧
⑤大阪ガス
⑥トヨタ車体
⑦豊田自動織機
⑧日鉄建材工業

2部女子

◆2月16日(土)
（岩手県営体育館）

日立栃木 27（15－13／12－11）24 ジャスコ

〔戦評〕前半開始早々、日立・飯塚がジャンプ、ステップ・シュートで連続2得点。その後ジャスコは懸命にシュートを放ったものの日立の好守にあい得点できなかったが、勝島の速攻、サイドシュートで追いついた。中盤から日立が先行するシーソーゲームとなり、日立が2点をリードして終了。

後半開始5分後、ジャスコがスピーディなセット攻撃で連続2得点で追いつき、さらに10分過ぎから日立のミスから速攻シュートで3点リード。12分間無得点だった日立は吉鶴が速攻を決め波に乗るかとみえたが、新井が退場。しかし、日立・市来、尾苗らが落ち着いたプレーでフェイントシュート、ミドルシュート等で得点を重ねた。残り2分、日立に退場者が出たピンチをしのいだ日立が食い下がるジャスコをふり切った。

〔電装〕	高橋	福山	杉村	橋本	久本	岸田	笠	岡崎	樋口	梅井	難波	柴田
得	0	0	2	1	1	0	5	1	2	1	5	1

〔本田〕	宮本	中尾	矢野	三代	松村	田中	山口	田中	堀内	寺島	大中	児玉
得	0	0	0	5	5	7	2	0	4	5	1	3

GK　FP　〔審・内藤　佐塚〕

19　(2)　PT　(0)　32

◆2月17日(日)(東海市民体育館)

ブラザー工業 34 〔22－6 12－5〕 11 JUKI

〔戦評〕前半立ち上がりよりブラザー工業は甲斐のサイドシュート、藤江の速攻と圧倒的な攻めを見せ、また固いディフェンスでJUKIの得点を防ぎ圧勝した。

〔JU〕	大角	久保	石塚	許田	樋口	高塚	田中	飯田	羽田	平山	山口	吉田
得	0	0	4	1	0	0	0	1	2	0	2	1

〔ブエ〕	岡本	西住	荒木	末永	小栗	野田	藤江	松尾	進藤	甲斐	高木	畑中
得	0	0	3	0	1	5	9	2	6	7	0	1

GK　FP　〔審・杉山　若田〕

11　(0)　PT　(2)　34

◆2月17日(日)(郡山総合体育館)

ソニー国分 22 〔8－8 14－7〕 15 ムネカタ

〔戦評〕前半、両チームとも開始5分頃まで動きが固くミスが多かったものの、ソニーは東郷のサイドシュートで先制すると林、大住のポスト、東郷の速攻などで得点を重ね、17分までに5－2とリードするが、ムネカタも20分過ぎから皆川のPT、桜井のロング、上遠野のサイドなどで追いつき、同点で前半を折り返した。

後半に入っても、ソニーは林、ムネカタは菅野のポストシュートなどで追いつ追われつの展開となり、17分過ぎまで同点になること4度であった。その後ソニーがムネカタ・桜井にマンツーをつけるとムネカタは攻めきれなくなり、逆にソニーは藤元のPT、カットイン、安山の速攻で3連取し、優勢に進め、終了間際にも5連続得点してソニーが勝利を収めた。

〔ムネ〕	我妻	佐々木	川名	皆川	上遠野	桜井	高橋	菅野	遠藤	庄子	吾妻	田代
得	0	0	2	3	1	4	1	3	1	0	0	0

〔ソニー〕	古賀	藤元	平山	桑原	林	大住	東郷	安山	飯
得	0	5	2	0	6	1	5	3	0

GK　FP　〔審・照井　守屋〕

15　(4)　PT　(6)　22

◆2月23日(土)(四日市市体育館)

ジャスコ 30 〔20－7 10－6〕 13 ムネカタ

〔戦評〕ジャスコは立ち上がりから多彩な攻撃で着々と加点、前半で20－7として勝負を決めた。

ムネカタは後半よく頑張ったが、攻撃が小さく、細かいプレーに終始していいところがなかった。

〔ムネ〕	我妻	佐々木	川名	皆川	上遠野	桜井	菅野	遠藤	庄子	村上	吾妻	田代
得	0	0	1	3	1	2	0	0	2	1	0	3

〔ジャ〕	小林	今井	東出	勝島	稲田	山田	川井	小沼	西本	松村	東
得	0	6	0	4	0	5	10	0	1	1	3

GK　FP　〔審・吉田　工藤〕

13　(3)　PT　(5)　30

◆2月24日(日)(徳山市体育館)

日立栃木 26 〔12－9 14－8〕 17 JUKI

〔戦評〕立ち上がり両チームともにミスが多く、自分のリズムに乗り切れていないようだった。日立はサイドから得点を重ね、JUKIはポストから得点を重ね、一進一退のゲームであったが、シュート確率に勝る日立が3点リードで折り返した。

後半に入り、日立がJUKIのポストへのマークを厳しくしたせいかJUKIは攻めきれず、再びミスが出てきた。日立は相手のミスをうまく得点に結びつけ、後半の立ち上がり10分間に8連続得点で一気に差を広げ勝負を決めた。

〔JU〕	大角	久保	石塚	上田	樋口	高塚	田中	飯田	羽田	田中	山口	吉田
得	0	0	7	0	0	0	0	6	3	0	1	0

〔日立〕	梅津	神永	神長	柳田	飯田	尾苗	市来	新井	堤	小柏	貫田
得	0	5	1	4	3	2	3	4	4	0	0

GK　FP　〔審・吉本　野村〕

17　(1)　PT　(0)　26

◆2月24日(日)(徳山市体育館)

ブラザー工業 29 〔12－11 17－10〕 21 ソニー国分

〔戦評〕両チームともディフェンス・ラインを上げて積極的に守るが、ボールに対して十分プレスのかかるブラザーが安定した立ち上がりを見せた。これに対してソニーは、ディフェンスの間が広く、

フォローが追いつかず失点を重ねた。20分過ぎ頃からソニーがペースをつかみ、追い上げを見せて前半は1点差で終了した。
　ラインを下げたブラザーに対してラインを上げたまま守るソニーは再びディフェンスの間が広くなり、簡単に得点を許してしまう。オフェンスでは、ブラザーのディフェンスを中央に寄せて攻めるが、得点に結びつかない。試合終了までソニーのディフェンスが立ち直らず、ブラザーが余裕をもって押しきった。

得	〔ソニー〕		〔ブエ〕	得
0	古賀	GK	岡本	0
		GK	西住	0
8	藤元	FP	荒木	5
1	平山		末永	1
0	桑原		小栗	1
2	林		野田	1
2	大住		藤江	5
4	東郷		松尾	1
5	安山		進藤	2
0	飯		甲斐	1
			高木	0
			畑中	0
		〔審・吉兼・田原〕		
21	(1)	PT	(4)	17

◆3月3日(日)(東根市民体育館)

ブラザー工業24 〔11－11、13－7〕 **18ムネカタ**

〔戦評〕前半ブラザーの先行でスタートしたが、すかさずムネカタ桜井のミドルで返し、以降は互角の攻防となり、お互いミドルシュートの応襲となった。再三ブラザーの雑なシュートミスに助けられムネカタは11－11と地力に勝るブラザーに食い下がった。
　後半もブラザーの先行でスタート。凡ミスをくり返すムネカタをじりじりと圧倒、点差を広げてゆくが、相変らずのシュートミスで決定的な展開とならず、凡ミスで自滅のムネカタに勝たせてもらったゲーム。

得	〔ムネ〕		〔ブエ〕	得
0	我妻	GK	岡本	0
0	佐々木	GK	西住	0
0	川名	FP	荒木	7
6	皆川		末永	3
2	上遠野		小栗	0
7	桜井		野田	5
0	菅野		藤江	1
1	遠藤		松尾	0
1	庄子		進藤	6
0	村上		甲斐	2
0	吾妻		高木	0
1	田代		畑中	0
		〔審・星川・佐東〕		
18	(2)	PT	(4)	24

◆3月3日(日)(徳島市立体育館)

ジャスコ32 〔13－8、19－6〕 **14JUKI**

〔戦評〕立ち上がり、両チームとも一歩も譲らず15分には6－6の同点。中盤からジャスコが速攻のチャンスを有効に生かし、6連続ゴールで12－6とする。ラストJUKIも粘りを見せたが、13－8で前半を終る。
　後半立ち上がりからジャスコのペースで展開、ブラザーも粘るがジャスコのリズムを崩せず、速攻に加えロングシュートも決まりだしたジャスコの一方的なゲームとなった。

得	〔JU〕		〔ジャ〕	得
0	大角	GK	小林	0
0	久保	GK		
4	石塚	FP	今井	5
2	上田		勝島	2
2	樋口		稲田	5
2	高塚		山田	5
0	田中		川井	7
2	飯田		小沼	1
2	羽田		大塚	1
0	平山		徳永	3
0	山口		青野	1
0	吉田		松村	2
		〔審・泉谷・亀井〕		
14	(0)	PT	(3)	32

◆3月3日(日)(佐賀県総合体育館)

日立栃木26 〔10－11、16－13〕 **24ソニー国分**

〔戦評〕前半3分、ソニー・平山のサイドシュート、速攻で2点リードで始まったが、日立・市来のミドルシュート、サイドシュートで同点とした。その後は一進一退のシーソーゲームでソニーの1点リードで前半を終る。
　後半もはじめは一進一退であったが、11分、日立・堤のポストシュート、速攻、新井のサイドシュートなどで4点差となった。20分ソニーがPTと速攻などで1点差としたが、その後は1点ずつを取り合う攻防が続き、日立の2点リードでゲームを終了した。

得	〔ソニー〕		〔日立〕	得
0	古賀	GK	梅津	0
6	藤元	FP	吉鶴	0
3	平山		神永	0
0	桑原		神長	0
5	林		柳田	2
3	大住		飯塚	9
5	東郷		尾苗	2
2	安山		市来	5
0	飯		新井	5
			堤	3
			前田	0
		〔審・高橋・井上〕		
24	(5)	PT	(2)	26

◆3月9日(土)(批把島スポーツセンター)

ブラザー工業30 〔14－5、16－6〕 **11ジャスコ**

〔戦評〕立ち上がりからブラザー工業は攻守ともスピーディな動きを見せ、速攻、またセットからのポスト、サイドシュート等がおもしろいように決まり完全にペースをつかむ。対するジャスコは12分、勝島の中央突破で初の得点。その後もブラザーの積極的なディフェンスを崩せず前半を終了。
　後半に入りプレス・ディフェンスで立ち直りのきっかけをつかもうとするジャスコだが、イージーなミスが目立ち得点は開く一方、結局終始のびのびとプレーをしたブラザーの圧勝に終った。

得	〔ジャ〕		〔ブエ〕	得
0	小林	GK	岡本	0
		GK	西住	0
4	今井	FP	荒木	5
3	勝島		末永	1
1	稲田		小栗	1
3	山田		野田	6
0	川井		藤江	5
0	小沼		松尾	1
0	徳永		進藤	9
0	青野		甲斐	2
0	土師		高木	0
0	松村		畑中	0
		〔審・川合・加藤〕		
11	(1)	PT	(3)	30

◆3月10日（日）（豊橋市総合体育館）

日立栃木31（15－10、16－4）14ムネカタ

〔戦評〕近頃のムネカタは元気が感じられる。一時の暗さはなくなり、ハツラツとした若さが見受けられる。試合の方も元気よく、今シーズン無敗の日立によく食い下がった。皆川を中心に上遠野の渋いサイドプレー、桜井のロングとで6－8、8－10と前半20分間は善戦した。

日立は体も暖まって固さもとれた後半開始10分間で6連取とたたみかけ一気に勝敗を決定づけた。

〔ムネ〕

	選手	得
GK	我妻	0
GK	佐々木	0
FP	川名	1
FP	皆川	4
FP	上遠野	1
FP	桜井	4
FP	菅野	1
FP	遠藤	0
FP	遠山	0
FP	庄子	2
FP	吾妻	1
FP	田代	0
	PT	(0)
	計	14

〔日立〕

	選手	得
GK	梅津	0
FP	吉鶴	2
FP	神永	3
FP	柳田	3
FP	飯塚	8
FP	尾苗	4
FP	市来	2
FP	石毛	2
FP	新井	4
FP	堤	2
FP	貴田	2
	PT	(5)
	計	32

〔審・小林・小林〕

◆3月10日（日）（和歌山県立体育館）

ソニー国分25（10－11、15－11）22JUKI

〔戦評〕前半立ち上がり、ソニー国分が先制。その後一進一退の展開を見せ、11－10とJUKIが1点をリードして前半を折り返す。

後半の追い込みの時[illegible]シュートバウンドが不運にもソニー側のボールとなり、またJUKIのパスミス、及びシュートミスがたたり、後半の点差につながってしまった。

〔JU〕

	選手	得
GK	大角	0
GK	久保	0
FP	石塚	2
FP	上田	0
FP	樋口	3
FP	高塚	2
FP	田中	4
FP	飯田	4
FP	羽田	0
FP	平山	0
FP	山口	7
FP	吉田	0
	PT	(0)
	計	22

〔ソニー〕

	選手	得
GK	古賀	0
FP	藤元	6
FP	永尾	0
FP	平山	2
FP	桑原	0
FP	林	2
FP	大住	3
FP	東郷	5
FP	安山	6
FP	飯	1
	PT	(3)
	計	25

〔審・田中・木村〕

◆3月17日（日）（都城市体育館）

ジャスコ27（14－13、13－12）25ソニー国分

〔戦評〕お互いにきれいなディフェンスからの速攻、そしてミドルシュートの応酬で前半は一進一退のまま折り返す。

後半もジャスコの速攻に対し、ソニー国分は藤元のミドルと林のポストで対抗するも20分過ぎからやや疲れの見え始めたソニーに対しジャスコは立て続けに速攻で突き放しにかかる。そのままソニーの退場者が2人続く中で逃げ切った。

〔ソニー〕

	選手	得
GK	古賀	0
FP	藤元	9
FP	永尾	0
FP	平山	2
FP	桑原	0
FP	林	8
FP	大住	1
FP	東郷	1
FP	安山	4
	PT	(0)
	計	25

〔ジャ〕

	選手	得
GK	小林	0
FP	今井	4
FP	東出	2
FP	勝島	1
FP	稲田	4
FP	山田	7
FP	川井	5
FP	岩瀬	2
FP	松村	0
FP	東	1
FP	吉本	1
	PT	(6)
	計	27

〔審・松村・奥村〕

◆3月17日（日）（相模原市総合体育館）

JUKI23（11－3、12－13）16ムネカタ

〔戦評〕今期9連敗と不振にあえぐJUKIが、早いパス回しと相手ミスにつけ込み、確実に得点を重ねるのに対し、ムネカタはシュートミスが多く、前半は11－3とJUKIが大きくリードする。

後半動きの良くなったムネカタが挽回、一進一退の攻防となるが、前半の失点があまりにも大きく、23－16でJUKIが逃げ切った。

〔ムネ〕

	選手	得
GK	我妻	0
GK	佐々木	0
FP	太田	0
FP	川名	2
FP	皆川	2
FP	上遠野	2
FP	桜井	6
FP	菅野	2
FP	遠藤	0
FP	庄子	2
FP	吾妻	0
FP	田代	0
	PT	(4)
	計	16

〔JU〕

	選手	得
GK	大角	0
GK	久保	0
FP	石塚	5
FP	上田	0
FP	樋口	2
FP	高塚	1
FP	田中	4
FP	飯田	3
FP	羽田	4
FP	平山	0
FP	山口	2
FP	吉田	2
	PT	(3)
	計	23

〔審・三辻・本田〕

◆3月23日（土）（東京体育館）

日立栃木20（7－8、13－12）20ブラザー工業

〔戦評〕前半立ち上がり、お互いシュートミスが多く、10分まで2－2のロースコアー。一進一退の展開を見せたが、8－7とブラザーが末永のシュートで1点をリードして折り返す。

後半、ブラザーが良い立ち上がりで一時14－9と5点をリードするが、中盤からじりじりと日立が追い上げを見せ、3分前に1点差、残り30秒、速攻から市来のシュートで同点として試合終了。

〔ブ工〕

	選手	得
GK	岡本	0
GK	西住	0
FP	荒木	2
FP	末永	1
FP	小栗	1
FP	野田	5
FP	松尾	3
FP	進藤	4
FP	甲斐	4
FP	高木	0
FP	西山	0
FP	島崎	0
	PT	(3)
	計	20

〔日立〕

	選手	得
GK	梅津	0
FP	吉鶴	1
FP	神永	1
FP	神長	0
FP	柳田	0
FP	飯塚	4
FP	尾苗	4
FP	市来	3
FP	新井	6
FP	堤	1
FP	前田	0
	PT	(2)
	計	20

〔審・菊池・羽田〕

〔最終順位〕

①日立栃木
②ブラザー工業
③ジャスコ
④ソニー国分
⑤JUKI
⑥ムネカタ

各地の記録から…

東北

第18回青森県秋季社会人選手権

（12月1、2日／七戸町立体育館）

〈男子〉

▼1回戦

弘前大 38－14 北星大
海自二空 23－22 海自大湊

▼2回戦

青商ク 25－15 弘前大
青森マスターズ 25－15 野辺地7A
野辺地クB 24－23 青森ク
七戸ユニオン 26－13 海自二空

▼準決勝

青森マスターズ 30－29 青商ク
七戸ユニオン 31－29 野辺地クB

▼決勝

青森マスターズ 35（20－18、15－15）33 七戸ユニオン

〈女子〉

▼準決勝

あすなろク 20－15 青森中央ク
野辺地ク 19－15 MKC

▼決勝

あすなろクラブ 27（11－5、16－10）15 野辺地ク

全国高校選抜大会青森県2次予選

（1月9、10日／弘前市民体育館）

〈男子〉

▼リーグ戦

青森商 29－5 青森
野辺地 33－13 青森
青森 20－9 青森山田
野辺地 32－11 青森山田
青森商 33－16 野辺地
青森商 38－7 青森山田

（順位）①青森商②野辺地③青森④青森山田

〈女子〉

▼リーグ戦

青森中央 13－10 青森西
青森中央 24－2 三本木
青森西 20－10 野辺地
青森西 28－2 三本木
野辺地 14－13 青森中央
野辺地 23－3 三本木

（順位）①青森西②青森中央③野辺地④三本木

東海

愛知県高校新人大会

（10月28日～1月20日／大同特殊鋼体育館ほか）

■西三河支部

〈男子〉

▼1回戦

衣台 15－7 刈谷工
豊野 14－7 知立東
三河 21－8 碧南工
豊田 17－13 刈谷北
西尾実 18－10 西尾東
安城 16－9 三好
岡崎東 26－6 高浜
岡崎北 20－10 岡崎工
安城南 13－9 吉良
西尾 13－8 一色

▼2回戦

岡崎城西 31－4 衣台
三河 18－16 豊野
岡崎西 20－7 豊田
岡崎 34－10 西尾実
豊田南 22－12 安城
岡崎北 12－7 岡崎東
刈谷 18－8 安城南
安城東 22－11 西尾

▼3回戦

岡崎城西 24－12 三河
岡崎 11－9 岡崎西
豊田南 20－13 岡崎北
安城東 24－17 刈谷

▼5～8位決定リーグ

岡崎西 22－14 岡崎北
岡崎西 26－9 刈谷
岡崎西 18－11 三河
岡崎北 17－14 刈谷
岡崎北 16－14 三河
刈谷 25－18 三河

▼決勝リーグ

岡崎城西 25－5 安城東
岡崎城西 19－11 豊田南
岡崎城西 24－17 岡崎
安城東 20－18 豊田南
安城東 17－15 岡崎
豊田南 15－14 岡崎

〈女子〉

▼1回戦

幸田 7－3 知立東
岡崎北 13－2 知立
安城東 14－9 吉良
西尾 13－12 岡崎東
豊田 13－8 刈谷
岡崎商 14－3 一色
刈谷北 5－4 安城南
衣台 20－2 愛教大附
岡崎 19－8 安城
豊田東 17－4 碧南
岩津 13－6 西尾東

▼2回戦

安城学園 20－0 幸田
岡崎北 9－8 安城東
豊田南 12－8 西尾
豊野 22－6 豊田
三好 14－5 岡崎商
衣台 18－4 刈谷北
岡崎 18－2 豊田東
岡崎西 19－0 岩津

▼3回戦

安城学園 20－2 岡崎北
豊田南 13－9 豊野
三好 11－4 衣台
岡崎西 14－9 岡崎

▼5～8位決定リーグ

岡崎 16－11 豊野
岡崎 10－7 衣台
岡崎 21－11 岡崎北
豊野 13－11 衣台
豊野 19－10 岡崎北
衣台 17－11 岡崎北

▼決勝リーグ

安城学園 12－6 岡崎西
安城学園 16－12 三好
安城学園 22－11 豊田南
岡崎西 7－7 三好
岡崎西 18－8 豊田南
三好 17－11 豊田南

■名南支部

〈男子〉

▼1回戦

昭和 17－11 中村
熱田 15－13 名城大附
瑞陵 18－14 星城
惟信 17－8 名商大附
名古屋南 23－17 鳴海
松蔭 23－16 南陽
東郷 14－13 享栄
天白 15－12 豊明
名古屋大谷 18－9 日進
名市工 14－10 同朋

▼2回戦

桜台 35－10 昭和
瑞陵 24－14 熱田
緑 17－11 惟信
名古屋南 25－23 向陽
名南工 39－8 松蔭
日進西 25－13 東郷
天白 25－17 名古屋大谷
中京 32－1 名市工

▼3回戦

桜台 28－10 瑞陵
名古屋南 19－15 緑
名南工 28－7 日進西
中京 19－9 天白

▼5位決定戦
瑞陵 22－17 緑
天白 19－18 日進西
天白 21－20 瑞陵

▼準決勝
桜台 39－10 名古屋南
中京 21－16 名南工

▼3位決定戦
名南工 22－13 名古屋南

▼決勝
桜台 22－11 中京

〈女子〉

▼1回戦
熱田 15－9 高蔵
昭和 5－3 中村
向陽 26－9 富田
惟信 26－1 豊明
日進西 17－4 名古屋南
中川商 18－5 鳴海

▼2回戦
名短付 37－8 熱田
東郷 15－1 昭和
若宮商 22－9 名女大
天白 19－12 向陽
桜台 18－7 惟信
松蔭 26－9 星城
日進西 28－4 南陽
東海女 48－4 中川商

▼3回戦
名短付 27－10 東郷
天白 30－1 若宮商
松蔭 9－8 桜台
東海女 30－1 日進西

▼5、6位決定戦
東郷 17－0 若宮商
桜台 15－10 日進西
桜台 8－7 東郷

▼準決勝
名短付 35－13 天白
東海女 27－5 松蔭

▼3位決定戦
松蔭 15－14 天白

▼決勝
名短付 15－10 東海女

■尾張支部

〈男子〉

▼1回戦
江南 16－15 一宮南
尾関学園 9－7 尾北
一宮北 12－11 尾西
犬山南 22－12 新川
西春 14－9 小牧工
平和 27－2 起工
弥富 10－8 岩倉
稲沢東 16－6 津島東
丹羽 9－5 稲沢
一宮 14－13 五条
津島 17－12 一宮興道
美和 16－14 一宮工

▼2回戦
蟹江 27－12 江南
一宮北 13－12 尾関学園
犬山南 21－13 西春
佐織工 19－9 平和
小牧南 42－4 弥富
稲沢東 11－9 丹羽
一宮 17－8 津島
一宮西 30－2 美和

▼3回戦
蟹江 17－8 一宮北
犬山南 9－8 佐織工
小牧南 22－7 稲沢東
一宮西 13－8 一宮

▼準決勝
蟹江 26－15 犬山南
一宮西 21－17 小牧南

▼3位決定戦
小牧南 25－22 犬山南

▼決勝
一宮西 25－17 蟹江

〈女子〉

▼1回戦
江南 11－1 一宮西
新川 14－5 平和
西春 19－5 津島女
一宮 13－3 岩倉
美和 9－9 一宮南（2 PTC 1）
一宮興道 20－10 五条
一宮北 14－4 小牧南
稲沢東 13－3 津島

▼2回戦
佐屋 23－11 江南
犬山南 15－8 新川
西春 10－7 尾西
蟹江 20－7 一宮
木曽川 21－2 美和
一宮商 9－5 一宮興道
一宮北 9－3 尾北
一宮女 15－4 稲沢東

▼3回戦
佐倉 14－5 犬山南
蟹江 5－1 西春
木曽川 15－4 一宮商
一宮女 19－6 一宮北

▼準決勝
佐倉 20－4 蟹江
一宮女 14－7 木曽川

▼3位決定戦
木曽川 20－8 蟹江

▼決勝
一宮女 12－9 佐屋

■名北支部

〈男子〉

▼1回戦
名大付 26－12 北
春日井東 36－12 瀬戸北
春日丘 30－17 菊星
明和 23－1 東邦
春日井 16－4 旭丘
東山工 15－10 名古屋西
春日井南 23－13 旭野
高蔵寺 32－8 愛知工
瀬戸西 19－12 瀬戸
市工芸 22－17 春日井西
千種 23－6 長久手
春日井工 17－11 栄徳
山田 13－11 名東

▼2回戦
愛知 30－10 名大付
春日丘 27－22 春日井東
明和 15－12 春日井
春日井南 32－9 東山工
高蔵寺 29－9 守山
市工芸 31－14 瀬戸西
千種 21－9 春日井工
東海 29－6 山田

▼3回戦
愛知 21－11 春日丘
春日井南 11－7 明和
高蔵寺 16－14 市工芸
東海 18－12 千種

▼5～8位決定戦
明和 26－20 春日丘
市工芸 20－12 千種

▼7位決定戦
千種 22－12 春日丘

▼5位決定戦
市工芸 22－16 明和

▼準決勝
愛知 20－11 春日井南
高蔵寺 29－15 東海

▼3位決定戦
春日井南 10－9 東海

▼決勝
愛知 22－13 高蔵寺

〈女子〉

▼1回戦
長久手 23－2 名大付
高蔵寺 27－8 市工芸
春日井 16－11 瀬戸
菊星 24－6 瀬戸北
春日井南 11－8 名東
春日井商 13－9 名古屋西
愛知商 43－2 椙山
北 15－12 名古屋商
西陵商 17－10 淑徳

▼2回戦
春日井西 33－11 長久手
高蔵寺 15－14 市邨
春日井 29－19 菊星
旭野 16－8 春日井南
緑丘商 14－9 春日井商
愛知商 26－19 春日井東
千種 17－14 北
中京女 30－5 西陵商

▼3回戦
春日井西 37－9 高蔵寺
春日井 19－15 旭野
愛知商 17－12 緑丘商

中京女 22－5 千種

▼5～8位決定戦

旭野 27－9 高蔵寺
緑丘商 18－16 千種

▼7位決定戦

千種 17－11 高蔵寺

▼5位決定戦

緑丘商 12－11 旭野

▼準決勝

春日井西 28－14 春日井
中京女 17－7 愛知商

▼3位決定戦

愛知商 23－21 春日井

▼決勝

中京女 20－19 春日井西

■知多支部

〈男子〉

▼1回戦

阿久比 30－11 常滑北
東海南 24－11 横須賀
武豊 18－8 知多東
知多 不戦勝 大府
東浦 10－8 大府東

▼2回戦

半田 21－16 阿久比
武豊 18－17 東海南
知多 18－17 半田工
半田東 14－12 東浦

▼準決勝

半田 22－10 武豊
半田東 20－12 知多

▼3位決定戦

知多 12－11 武豊

▼決勝

半田 17－9 半田東

〈女子〉

▼1回戦

東海女 12－5 桃陵
横須賀 17－14 大府
武豊 26－3 知多
常滑北 10－5 阿久比
常滑 7－4 東海南
東浦 6－5 半田東
半田 11－4 知多東

▼2回戦

半田商 17－2 東海商
武豊 28－7 横須賀
常滑北 15－8 常滑
半田 19－5 東浦

▼準決勝

半田商 16－4 武豊
半田 18－12 常滑北

▼3位決定戦

武豊 24－10 常滑北

▼決勝

半田商 12－8 半田

■東三河支部

〈男子〉

▼1回戦

桜丘 14－11 国府
三谷水産 21－14 豊丘
御津 19－13 豊橋工
豊橋西 14－9 豊橋南
蒲郡東 31－6 豊橋商
豊橋東 25－19 新城東

▼2回戦

時習館 21－10 桜丘
三谷水産 17－16 御津
蒲郡東 24－14 豊橋西
豊川工 29－4 豊橋東

▼決勝リーグ

時習館 20－11 三谷水産
時習館 19－15 蒲郡東
豊川工 12－12 時習館
豊川工 21－12 蒲郡東
豊川工 26－18 三谷水産
蒲郡東 21－14 三谷水産

〈女子〉

▼1回戦

御津 10－8 豊丘
蒲郡東 12－10 蒲郡
豊橋商 31－3 新城東

▼2回戦

豊橋西 23－7 豊橋東
時習館 8－6 御津
国府 15－9 蒲郡東
豊橋南 18－10 豊橋商

▼決勝リーグ

豊橋西 22－7 時習館
豊橋西 22－9 国府
豊橋西 22－14 豊橋南
国府 16－13 豊橋南
国府 16－14 時習館
豊橋南 17－9 時習館

■中央大会

〈男子〉

▼1回戦

名古屋南 22－16 岡崎西
時習館 24－22 東海
小牧南 19－16 半田東
安城東 25－18 蒲郡東
蟹江 20－15 岡崎
名南工 26－11 知多
豊田南 16－15 春日井南
天白 17－15 犬山南

▼2回戦

岡崎城西 32－13 名古屋南
一宮西 19－14 時習館
高蔵寺 2[illegible]－12 小牧南
中京 23－20 安城東
愛知 29－9 蟹江
名南工 32－9 豊川工
豊田南 19－18 半田
桜台 31－11 天白

▼3回戦

岡崎城西 30－14 一宮西
高蔵寺 17－14 中京
名南工 22－16 愛知
桜台 24－11 豊田南

▼決勝リーグ

岡崎城西 23－22 高蔵寺
桜台 26－14 名南工
岡崎城西 20－15 名南工
桜台 20－15 高蔵寺
桜台 16－13 岡崎城西
名南工 25－18 高蔵寺

〔順位〕①桜台②岡崎城西③名南工④高蔵寺

〈女子〉

▼1回戦

春日井 11－9 東郷
佐屋 16－13 三好
松蔭 13－12 愛知商
半田 22－8 国府
天白 8－6 蟹江
岡崎西 17－12 豊橋南
木曽川 17－11 武豊
桜台 13－10 豊田南

▼2回戦

名短付 32－7 春日井
佐屋 21－15 豊橋西
安城学園 19－9 松蔭
一宮女 20－13 半田
中京女 18－8 天白
岡崎西 10－3 半田商
春日井西 22－13 木曽川
東海女 26－1 桜台

▼3回戦

名短付 23－6 佐屋
安城学園 18－7 一宮女
中京女 11－5 岡崎西
東海女 27－3 春日井西

▼決勝リーグ

名短付 26－13 安城学園
東海女 19－7 中京女
名短付 28－7 中京女
東海女 33－11 安城学園
東海女 17－9 名短付
安城学園 27－15 中京女

〔順位〕①東海女②名短付③安城学園④中京女

岐阜県高校新人大会

（12月25、26日／県民体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

岐西工 13－9 大垣南
可児 17－12 岐山
各務原西 22－14 大垣北
岐阜東 10－9 斐太
加納 12－6 中京商
大垣工 21－10 羽島北

▼2回戦

市岐阜商 19－7 岐西工
可児 13－11 各務原西
岐阜東 18－11 加納
県岐商 24－7 大垣工

▼準決勝

市岐阜商 18－8 可児
県岐商 13－9 岐阜東

▼3位決定戦
岐阜東 22－14 可児
▼決勝
市岐阜商 12（7－4、5－3）7 県岐阜商

〈女子〉
▼1回戦
大垣北 10－9 加納
各務原西 9－6 瑞浪
富田女子 10－5 益田
養老女子 18－2 本巣
▼2回戦
高山 22－2 大垣北
各務原西 17－10 池田
富田女子 15－5 郡上
養老女子 16－12 県岐阜商
▼準決勝
高山 16－5 各務原西
養老女子 10－9 富田女子
▼3位決定戦
富田女子 10－5 各務原西
▼決勝
養老女子 15（8－5、7－9）14 高山

三重県高校新人大会

（1月13、15、20日／霞ヶ浦体育館ほか）

〈男子〉
▼1回戦
四日市四郷 25－4 海星
上野工 18－13 名張西
四日市西 27－9 津西
桑名北 没収 高田
桑名 21－7 尾鷲
▼2回戦
四日市工 19－10 四日市四郷
川越 12－10 四日市南
津東 15－11 津工
桑名工 18－8 上野工
四日市中央工 23－12 四日市西
桑名北 8－7 四日市
桑名西 16－12 津
桑名 19－14 亀山
▼3回戦
四日市工 23－8 川越
津東 14－5 四日市中央工
桑名工 13－9 桑名北
桑名 20－8 桑名西
▼準決勝
四日市工 27－10 津東
桑名工 17－12 桑名
▼3位決定戦
桑名 32－5 津東
▼決勝
四日市工 19（10－5、9－8）13 桑名工

〈女子〉
▼1回戦
桑名西 18－5 桑名
津東 13－8 川越
上野 13－5 津
四日市 11－6 四日市南
松阪女 18－1 尾鷲
名張西 16－12 四日市西
四日市商 25－3 四日市四郷
▼2回戦
津東 33－3 桑名西
暁 19－2 上野
四日市 28－8 松阪女
四日市商 23－7 名張西
▼準決勝
暁 23－3 津東
四日市商 27－6 四日市
▼3位決定戦
四日市 14－7 津東
▼決勝
暁 19（7－4、12－7）11 四日市商

中国

第22回岡山県高校室内選手権

（1月19、20日／岡山市総合文化体育館ほか）

〈男子〉
▼1回戦
東岡工 21－10 倉敷商
岡山工 28－7 高梁工
理大附 27－9 一宮
天城 22－9 児島
倉敷工 23－12 津山
光南 9－9 吉備（2PTC1）
倉敷南 24－6 玉野
総社 21－7 青陵
▼2回戦
東岡工 20－13 岡山工
天城 22－15 理大附
倉敷工 17－4 光南
総社 31－10 倉敷南
▼準決勝
東岡工 13－9 天城
総社 8－6 倉敷工
▼3位決定戦
天城 18－15 倉敷工
▼決勝
東岡工 14（7－10、7－3）13 総社

〈女子〉
▼1回戦
玉野 13－4 倉敷南
天城 18－11 倉敷商
▼2回戦
光南 15－12 玉野
総社 14－4 真備
倉敷中央 19－6 総社南
西大寺 25－11 天城
▼準決勝
光南 5－3 総社
西大寺 10－5 倉敷中央
▼3位決定戦
総社 18－8 倉敷中央
▼決勝
西大寺 12（5－4、7－4）8 光南

九州

第27回宮崎県総合選手権

（12月23～26日／県体育館ほか）

〈男子1部〉
▼1回戦
宮崎ク 29－11 宮北高OB
第一高A 19－11 聖陵ク
北虎会 21－11 宮西高A
フェニックス 24－16 延岡高
宮崎大 27－10 宮工ク
泉ヶ丘高 22－20 小林ク
都城工A 12－0 諸塚ク
小林工OB 35－4 宮西高B
▼2回戦

宮崎ク	29－7	第一高A
フェニックス	20－17	北虎会
宮崎大	20－19	泉ヶ丘高
都城工A	26－17	小林工OB
▼準決勝		
宮城ク	26－16	フェニックス
都城工A	20－18	宮崎大
▼決勝		
宮崎ク	22（12－9、10－9）18	都城工A

〈男子2部〉

▼1回戦		
妻高A	24－15	小林高
ユンティル	21－16	第一高B
宮北高B	13－5	宮崎工
フェニックス	29－10	鵬翔高
オールド、		
妻高B	10－9	日向工
高鍋西中OB	20－8	北勝会
宮北高A	20－13	フレンド
妻高XYZ	13－6	都城西高B
佐土原高	19－18	ライオンズ
▼2回戦		
妻高A	26－11	タランチュラ
都城高専	21－18	ユンティル
都島ク	31－8	宮北高B
都城西高A	18－17	フェニックス
		オールド
都城工B	23－10	妻高B
高鍋中西OB	13－8	泉ヶ丘高B
宮北高A	13－10	妻高XYZ
小林工	17－9	佐土原高
▼3回戦		
都城高専	21－16	妻高A
都城西高A	19－18	都島ク
都城工B	32－8	高鍋西中OB
宮北高A	15－9	小林工
▼準決勝		
都城西高A	22－13	都城高専
宮北高A	17－11	都城工B
▼決勝		
都城西高A	13（9－5、4－5）10	宮北高A

〈男子3部〉

志和池中	21－10	北川中C
北川中B	17－11	小林中
油津中	25－13	山田中C
▼2回戦		
米倉道場	31－8	志和池中
山田中B	22－6	高鍋西中
北川中B	13－11	山田中B
北川中A	20－19	油津中
▼準決勝		
米倉道場	17－13	山田中B
北川中A	15－11	北川中B
▼決勝		
米倉道場	26（13－5、13－10）15	北川中A

〈女子1部〉

▼1回戦		
本庄高OB	24－8	延岡高
▼2回戦		
宮崎ク	22－20	本庄高OB
北川中A	20－10	泉ヶ丘高
山田中A	23－14	富島高
第一高	18－15	小林ク
▼準決勝		
北川中A	19－14	宮崎ク
山田中A	13－10	第一高
▼決勝		
北川中A	17（9－5、8－4）9	山田中A

〈女子2部〉

▼1回戦		
小林商高	16－8	都城西高
小林中	18－17	鵬翔高A
南郷中	16－9	山田中C
山田中B	28－4	鵬翔高B
高鍋西中OB	12－0	小林高
宮崎女高	12－9	北川中C
▼2回戦		
北川中B	16－12	小林商高
小林中	31－5	南郷中
山田中B	27－5	高鍋西中OB
延岡商高	6－3	宮崎女高
▼準決勝		
北川中B	19－5	小林中
山田中B	18－3	延岡商高
▼決勝		
北川中B	11（4－6、7－2）8	山田中B

第8回宮崎県高校選抜大会

（1月12～13日／都城市体育文化センター）

〈男子〉

▼予選トーナメント		
都城泉ヶ丘	32－17	妻
宮崎西	19－11	延岡
都城工	27－13	都城西
宮崎第一	27－13	小林工
▼決勝リーグ		
都城泉ヶ丘	36－12	宮崎西
都城工	21－18	宮崎第一
都城泉ヶ丘	27－18	都城工
宮崎第一	19－13	宮崎西
都城泉ヶ丘	30－19	宮崎第一
都城工	24－23	宮崎西

〔順位〕①都城泉ヶ丘②都城工③宮崎第一④宮崎西

〈女子〉

▼予選トーナメント		
本庄	34－4	都城商高
延岡東	30－13	宮崎商
都城泉ヶ丘	12－11	富島
宮崎第一	18－15	延岡
▼決勝リーグ		
本庄	31－4	延岡東
宮崎第一	17－16	都城泉ヶ丘
本庄	41－5	都城泉ヶ丘
宮崎第一	21－13	延岡東
延岡東	14－13	都城泉ヶ丘

〔順位〕①本庄②宮城第一③延岡東④都城泉ヶ丘

第19回鹿児島中学校新人大会

（1月12、13日／隼人町体育館）

〈男子〉

▼予選リーグ		
東谷山	13－12	伊敷
鹿大附	23－4	谷山
鹿大附	15－8	伊敷
東谷山	16－11	谷山
国分	9－6	栗野
重富	20－5	栗野
重富	13－5	国分
▼決勝トーナメント準決勝		
鹿大附	16－5	国分
重富	17－11	東谷山
▼決勝		
鹿大附	17（10－8、7－7）15	重富

〈女子〉

▼決勝リーグ		
鹿大附	13－5	東谷山
伊敷	7－4	重富
東谷山	13－5	谷山
鹿大附	16－6	重富
重富	9－4	東谷山
鹿大附	5－2	伊敷
重富	5－1	谷山
鹿大附	15－3	谷山
伊敷	8－4	東谷山
伊敷	14－1	谷山

〔順位〕①鹿大附属②伊敷③重富④東谷山⑤谷山

アジア選手権大会入場料金決まる

第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピックアジア地区予選大会
兼世界選手権アジア地区予選大会

開催期日　1991年8月21日～9月1日

会　　場　広島サンプラザ
　　　　　広島市東区スポーツセンター

入場料金

共通券	3,000円 (大会全試合)
(一般前売券)	
開会式	1,500円 (当日券2,000円)
準決勝	1,500円 (当日券2,000円)
決勝	1,500円 (当日券2,000円)
予選リーグ	1,000円 (当日券1,500円)
(中高前売券)	
全試合とも1日券	500円 (当日券700円)

6月15日(土)より予約受付開始

問い合わせ先　日本ハンドボール協会
03(3481)2361

'91広島
アジアハンドボール選手権大会
を成功させよう!!

—第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピックアジア地区予選—

〔日程〕 一九九一年八月二十二日(木)~九月一日(日)
〔大会会場〕 広島サンプラザ・広島市東区スポーツセンター

(財)日本ハンドボール協会
広島県ハンドボール協会

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三〇八号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成三年四月二十六日 印刷 平成三年五月一日 発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 東京 六―五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五十円（年間購読料三千三百円）